

表 紙 説 明



「土木の日」 絵画・写真コンクール
金賞 低学年の部

熊本市立出水小学校
1年 圓山 実咲 さん

目 次

■巻頭言「新年のご挨拶」	会 長 藤本 祐二	2
年頭のご挨拶	熊本県議会議員(顧問) 前川 收	4
年頭のご挨拶	国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所所長 鈴木 学	6
年頭のご挨拶	熊本県土木部部長 上野 晋也	8
年頭のご挨拶	熊本県農林水産部部長 竹内 信義	10
年頭のご挨拶	(一財)熊本県建設技術センター理事長 宮部 静夫	12
年頭のご挨拶	熊本市都市建設局局长 田中 隆臣	14
■令和2年国土交通大臣表彰(建設事業関係功労者)と令和2年度優良業務委託表彰		16
■インターンシップの受入状況報告		17
■令和2年7月豪雨災害に係る協会活動報告		18
■2020年7月人吉豪雨災害ボランティア活動紹介		21
■要望活動(自由民主党熊本県支部連合会・熊本県)		23
■リモートワーク特集		25
■会員の異動		31
■会員名簿		32
■会員紹介		37
■編集後記		72
■START LINE		



新年のご挨拶

一般社団法人 熊本県測量設計コンサルタント協会
会長 藤本 祐二

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素から当協会に対しまして格別の御支援、御指導を賜り心から厚く御礼申し上げます。

2度にわたる最大震度7を記録した熊本地震から早や4年9ヶ月が過ぎ、県内各地では着実に復旧・創造的復興が進み、昨年10月には国道57号北側復旧ルート及び現道部が開通し、今年の3月頃には国道325号の新しい阿蘇大橋も開通予定で阿蘇地域へのアクセスルートが大きく回復されます。また、甚大な被害を受けた益城町では、県道熊本高森線の4車線化は一部が完成し、また町中心部の土地区画整理事業は約6割の仮換地指定が完了し一部画地が引き渡されるなど、復興後の姿が見える形となっています。

このように、熊本地震からの着実な復旧・創造的復興に期待と安心を持ちはじめていた中、新型コロナウイルスの感染拡大と令和2年7月豪雨災害があり、私たちの心にまたも重くのしかかることとなりました。被災されました皆様には心から御冥福とお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大はいまだ終息の兆しが見えず、県民生活や県経済に

深刻な影響が及んでいます。このような中、昨年7月の豪雨災害により、道路など公共施設や農地・林道など農林関係施設などのインフラはもとより地域の生活を支える商工業や観光業、農林水産業など県南地域を中心に甚大な被害をもたらしました。県の発表によりますと熊本地震と比較してその被害規模は、公共土木施設が同規模以上、農地等施設が約5分の2、林務施設が約4倍とのことでした。

私たち測量設計コンサルタント協会も、発災直後の7月4日に協会に災害対策本部を設置し、熊本県知事との「大規模災害時の支援活動に関する協定」に基づき、球磨地域振興局、芦北地域振興局、八代地域振興局の土木部からの支援要請を受け、7月5日から10日までの期間、延べ68社、延べ560名が60路線、47河川・砂防の被害状況調査等を実施しました。その後は、災害査定の測量設計業務、工事発注に向けた詳細設計業務に会員一同、被災地の早期復旧・復興のため全力で取り組んでいるところです。

測量設計業界を取り巻く環境は、人口減少や地球温暖化、自然災害の激甚化・頻発化に待ったなしで対応していかなければならない状況になっています。私たち協会員各社の技術者も50歳代以上が約5割と若い技術者の担い手不足の影響は深刻となって

います。

国においては、平成30年の「防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」に続き、「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」が決定され、今後5年間で重点的・集中的に実施する対策の事業規模は約15兆円とされています。

また、昨年度から労働基準法の改正により時間外労働の上限規制などが施行されています。さらに、いわゆる品確法も改正され調査測量設計も対象とされました。このことにより、①災害協定の締結等による「災害時の緊急対応の充実強化」、②適正工期や履行期間の平準化などによる「働き方改革への対応」、③情報通信技術の活用等による「生産性の向上への対応」が求められている状況です。

これらを踏まえ、私たち協会は、発注者の方々としっかり情報交換・意見交換をし連携してこれらの課題に対応していかなければならないと考えています。また、協会員一同、今後も社会資本の整備をはじめ防災、減災などへの取組みを進めていく役割をしっかりと担うべく技術と経営に優れた企業となるよう取り組んで参りますので、引き続き皆様方には御指導・御支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして希望に満ち素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。





熊本県議会議員

顧問 前川 収

新年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

昨年、本県は7月豪雨により甚大な被害を受けました。改めて、亡くなられた方の御冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。

現在熊本県は、新型コロナウイルス感染症により生活や経済に大きな影響を受けており、加えて、平成24年の熊本北部豪雨、平成28年の熊本地震、令和2年の7月豪雨と度重なる大規模な自然災害による甚大な被害の発生など多くの課題に直面しています。

このような中、調査測量設計業をはじめ建設関連業に従事されている皆様が、災害現場の最前線で「地域の守り手」として、地域や住民の安全・安心の確保に昼夜を問わず全力で取り組まれていることに、改めて心から感謝申し上げます。まさに、地方創生そしてコロナを機に地方への関心が一層高まる中、そのような地方の守り手となる建設関連業の皆様は、「地方の宝」と私は常日ごろから考えています。

また、熊本地震からの復旧・復興は、国道57号北側復旧ルート及び現道部の開通や国道325号の新しい阿蘇大橋も今年3月頃には開通予定です。甚大な被害を受けた益城町においても県道熊本高森線の4車線化や土地区画整理事業が着実に進んでいます。これらも皆様方の御尽力をいただいて

いるから進んでいるのでありまして、改めて重ねて感謝申し上げます。

そのような思いの中、昨今の気候の変動の影響により災害が激甚化・頻発化していることを危惧するとともに的確に対応していくべく、平成30年の「防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」約7兆円に続き、県をはじめ県内市町村において国土強靱化地域計画を策定いただき、「チーム熊本」として「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」の推進を国に求めてきました。その結果、5年間で約15兆円規模の予算で激甚化する風水害等への対策を全国的に重点的・集中的に実施することとされました。これらの予算をしっかりと活用し災害に屈しない強靱な県土づくりをしていきたいと考えています。

一方で、調査測量設計業をはじめ建設関連業における担い手不足の影響は深刻であり、特に若い技術者不足が続いており、今後社会資本の整備をはじめ防災・減災、国土強靱化対策、更には災害時に最前線で「地域の守り手」として地域や住民の安全・安心を確保する役割を担っていただくためには人材確保・育成を強力に加速・充実させていかなければならないと考えています。昨年度、品確法も改正され調査測量設計も対象とされました。適正工期や履行期間の平準化などによる「働き方改革への

対応」、情報通信技術の活用等による「生産性の向上への対応」を進めるべく、協会の皆様と連携してこれらの取組みを進めていきますので、よろしくお願いいたします。

結びにあたり、皆様の御健勝と御活躍を期待するとともに、本年が皆様にとりまして実り多く、素晴らしい飛躍の年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



(令和2年12月10日(木) 協会要望活動)





国土交通省
九州地方整備局 熊本河川国道事務所

所長 鈴木 学

令和3年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様方には日頃より熊本河川国道事務所が所掌する各事業に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

河川事業について白川では、令和2年11月末に高潮区間の堤防整備（TP7.0m）が完了しました。今後は、令和2年1月に変更した白川水系河川整備計画に基づき、基準地点である代継橋地点において毎秒2千4百m³を目標として、更なる堤防整備や固定堰の改築等について段階的、計画的に整備を進めていきます。緑川においては、高潮災害に脆弱な下流域（熊本市、宇土市）の堤防整備について、平成11年9月の18号台風を対象とした第一段階のTP4.5m整備に目途が付いたことから、第二段階のTP6.0m整備に着手しています。また、氾濫域に熊本市や嘉島町中心部を抱える支川加勢川の河道掘削も重点的に進めています。

近年毎年のように全国各地で大規模洪水による甚大な被害が発生しております。このような河川的能力を超える洪水においても被害を最小化するため、平成28年度より、関係自治体・県・国からなる「白川・緑川水防災意識社会再構築協議会」を設置し、住民避難等に関するソフト対策の検討を進めてきました。

しかし、気候変動による水災害リスクの

増大に備えるためには、流域に関わる関係者が主体的に治水に取り組む社会を構築する必要があることから、国土交通省では、昨年7月に「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」の取りまとめを踏まえ、全国の一級水系において、市町村・都道府県・国等との協議会を設置し、令和2年度末までに「流域治水プロジェクト」を策定することとしています。

白川と緑川水系においては、「白川・緑川水系流域治水協議会」を昨年9月に設置し、従来の河川事業等による治水対策+αの流域治水対策メニューについて関係機関と連携して検討を進めて参ります。

道路事業では、熊本地震の災害復旧として国道57号北側復旧ルートを含め令和2年10月に開通させました。被災した国道57号現道部も同時に開通し、阿蘇地域における開通後の交通量は熊本地震前のように回復しました。また、国道325号阿蘇大橋ルートにおいても、今年3月頃に全線開通を予定されており、阿蘇地域へのアクセスルートが大きく回復され、さらなる復興が期待されます。

また、熊本県は人口の約6割が熊本都市圏に集中し、郊外には阿蘇や天草等、魅力ある地域が多く立地しています。これらの地域と拠点となる熊本都市圏を道路ネットワークでつなぎ、地域間の交流・連携を促進させることで、地域の活力の向上を図り

ます。そのため、「九州中央自動車道」(嘉島JCT～矢部)、(蘇陽～五ヶ瀬)や「中九州横断道路」の一部を形成する「竹田阿蘇道路」「滝室坂道路」「大津熊本道路(合志～熊本)」の事業を推進します。

激甚化・頻発化する災害から速やかに復旧・復興するため、幹線道路の整備が、災害時の道路ネットワークの確保に繋がるものであり、着実に進めていくことで、今後とも防災・減災、国土強靱化に寄与して参ります。

熊本都市圏では、朝夕に慢性的に交通渋滞が発生するなど、市民生活に大きな影響が生じています。そのため、熊本市内では、国道3号「熊本北バイパス」や、「植木バイパス」について事業を推進しています。

さらに熊本県や熊本市等と連携を図りながら、熊本都市圏の将来の道路ネットワークのあり方について、引続き検討を進めていきます。

昨年は、熊本地震からの復興に大きな節目をつけ、また河川事業、道路事業においても次のステップへ移行するなど着実に事業を進めることが出来ました。今年も継続して熊本の発展の礎とするべく、事業の進捗に事務所一丸となって取り組んで参ります。それには建設業界の皆様方との連携が不可欠です。我々も建設業界が抱える課題等を認識し、健全な発展へ尽力していく所存です。引き続き皆様方の御力添えを賜り

ますようお願い致します。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。





熊本県土木部

部長 上野 晋也

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、日頃から本県土木行政はもとより、県政の推進に御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

去年は、熊本地震からの復興途上にある中、新型コロナウイルス感染症、豪雨災害と、トリプルパンチに見舞われました。

今回の豪雨では、河川の氾濫や土砂災害等により、65名の尊い命が失われ、未だ2名の方が行方不明となっています。また、約7700棟の住家被害に加え、道路、河川、鉄道、農地・農業用施設等の損壊や山地の崩壊、さらには地域の生活を支える商工業や観光業、農林水産業等に甚大な被害が生じ、被害総額は5330億円（11月24日時点）と、昭和以降に発生した災害のうち、熊本地震に次ぐ被害額となりました。

今回の災害により、改めて災害に強い安全・安心な熊本づくりのために、防災・減災、国土強靱化の取り組みを強力に推進することが重要であると再認識しています。

1 熊本地震からの創造的復興

地震により寸断された阿蘇へのアクセスルートについては、昨年10月、震災後4年半という異例のスピードで国道57号北側復旧ルート及び現道部が開通しました。また、今年の3月頃には、国道325号の新しい阿蘇大橋が開通予定です。国土交通省をはじめ関係者の皆様の御尽力に改めて感謝申し上げます。

また、甚大な被害を受けた益城町においては、県道熊本高森線の4車線化と町中心部の土地区画整理事業に取り組んでいます。4車線化については、モデル地区の整備が昨年3月末に完了したのをはじめ、これまでに延べ705mが完成し、復興後の姿が目に見える形となりました。また、土地区画整理事業については、約6割の仮換地指定が完了し、これまで28画地が引渡しを終え、自宅再建が可能となりました。地域の方々の一日も早い生活再建のため、今後も町と連携しながら、「益城町の復興なくして熊本地震からの復興はない」との強い思いと時間的緊迫性を持って全力で取り組みます。

2 令和2年7月豪雨への対応

(1) 被害の状況

7月3日から4日朝方にかけて、広範囲に大量の雨が降り続き、県南地域を中心に甚大な被害をもたらしました。

今回の豪雨災害により、道路、橋りょう、河川、砂防及び下水道等の公共土木施設の被害箇所は4715箇所、被害額は約1452億円に上りました（8月19日時点）。これは、熊本地震時の1379億円（国や熊本市、JRの施設被害を除く）を超える規模です。

(2) 復旧・復興の取り組み

県では、発災直後から大規模災害支援協定に基づき、熊本県測量設計コンサルタント協会をはじめ10団体に支援要請を行い、

被害情報の収集や道路啓開などの支援活動を実施していただきました。

国からは、県や被災地域の各市町村へ、発災直後の7月4日から7月30日の間に、全国から集結した延べ6100名ものテックフォースによる道路、河川、砂防、下水道の被災状況調査や、土砂撤去支援のための路面清掃車や漂流物回収のための海洋環境整備船配備など、初動時から人員だけでなく資機材の面でも多大な支援をいただきました。このほか、NEXCO西日本からの八代IC～人吉IC間における通行料金の無償措置等の御協力や、他県から本県及び被災市町村への応援職員の派遣など、現在も継続して御支援いただいています。

球磨川の流失した橋りょう10橋をはじめ、球磨川中流域沿川の国道219号や県道、県が管理する9支川の復旧については、国の権限代行により取り組んでいただいています。また、県においても、球磨川の4つの村道の災害復旧工事を権限代行で行うことを決定し、これまで啓開ルートの整備が概ね完成しています。

また、被災者の住まいを確保するため、熊本地震での経験を活かし、住まいを失った入居者の方々に、少しでも安らぎを感じてもらえるよう、温かみのある木造で7市町村24団地808戸の仮設住宅と20棟のみんなの家を12月までに整備しました。

さらに、宅地内に流れ込んだ土砂については、市町村が撤去作業を代行する「直接

排除」制度を積極的に活用するよう市町村へ働きかけ、建設業者などと連携して撤去を進めています。

(3) 今後の治水対策

球磨川流域の新たな治水の方向性として、住民の「命」を守り、さらには地域の宝である「清流」をも守る「新たな流水型ダム」を含めた「緑の流域治水」に取り組み、日本の災害復興をリードする新たな全国モデルとして、球磨川流域の創造的復興を成し遂げていきます。

一方で、その効果が十分発揮されるまでには相当の期間を要するため、想定を超える今回のような豪雨など現実の脅威に備えるべく、河床の掘削など早急に行うべき対策については、躊躇することなく、重点的かつ確実に実施していきます。

今年は、熊本地震からの復旧・復興に向けた残された課題に取り組むとともに、令和2年7月豪雨で被災された方々が将来に向かって生活再建や地域の再生への歩みを進めていけるよう、「復旧・復興プラン」に基づき、全力で取り組んでいきます。

コンサルタンツ協会の皆様には、公共土木施設の災害復旧等の実施設計に向けた資料作成など、一日も早い復旧・復興に向け、御支援、御協力をよろしくお願い致します。

結びに、本年が皆様にとりましてすばらしい年となることを祈念し、年頭の挨拶とします。



熊本県農林水産部

部長 竹内 信義

令和3年の年頭にあたり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃より本県農林水産行政の推進に御理解と御協力を賜り、併せて地域や県政の発展に御尽力いただいていることに心から感謝申し上げます。

本県は、全国から大きな支援を受け、熊本地震から着実に復旧・復興の歩みを進めている最中に、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、農林水産物の需要低迷等に続き、7月には豪雨災害が発生し、本県は、いわば“トリプルパンチ”に見舞われている状況にあります。

令和2年7月豪雨による県内の農林水産関係への被害は約1,019億円と甚大で、この30年では熊本地震に次ぐ2番目の規模となり、特に球磨川流域はかつてない程の打撃を受けました。皆様方には、発災直後からの被災地域でのボランティア活動や災害査定・復旧工事等に向け御尽力いただき、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

県では、生命と財産を守り安全・安心を確保するとともに、球磨川流域の豊かな恵みを楽しむという「グリーンニューディール」の基本理念のもと、被災された皆様は将来にわたって「夢」や「誇り」を持って生活できるよう、昨年11月に「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」を策定しました。農林水産業については、被災者・被災地域の日も早い復旧・復興に

向けた取組みはもとより、5年後、10年後を見据えた取組みとして「“緑の雇用”の創出に向けた森林資源のフル活用」や「農地の大区画化による生産性の向上など稼げる農業の実現」などを掲げ、創造的復興を進めていくこととしています。

併せて、全国各地で自然災害が毎年のように多発している中、本県農林水産部としても、県土の強靱化を図るため、排水機場をはじめとする老朽化した土地改良施設の適切な更新や、ため池、治山施設、農地海岸施設などの整備に、しっかりと取り組んで参ります。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、本県の農林水産業にも売上減少などの影響が生じています。農林漁業者の皆様が安心して経営を継続できるよう、本県独自の金融支援制度の創設や県産農林水産物の消費喚起・拡大など切れ目ない支援に取り組んでいます。

本県は、全国第6位の農業産出額を誇る農業県です。全国1位の生産量のトマトやすいかを始め、2位のなすや養殖マダイ、3位のいちごや乾しいたけ等、豊富な農林水産物を産出しており、それらの安定的な収穫等を農林水産インフラがしっかりと支えています。

近年は、TPP11、日EU・EPA、日米貿易協定や日英EPAの発効などによる経済のグローバル化の進展や、国内における深刻な労働力不足等への対応も急がれ

ています。県としても、確実な新規就業者の確保・育成や外国人材の受入れ拡大、先端技術を活用したスマート農林水産業の推進などによる生産性の向上等に取り組むとともに、ピンチをチャンスと捉え、本県の多彩な農林水産物等の更なる輸出拡大等に取り組んで参ります。

これらの施策の推進には、今後とも、皆様方のお力添えが必要不可欠であり、引き続き、御理解、御協力をお願い申し上げます。

今後とも、国や市町村、関係団体の皆様方と連携しながら、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興、県土の強靱化、世界と戦えるくまもと農林水産業の実現に全力で取り組んで参ります。

最後になりましたが、本年も皆様方の益々の御発展を祈念申し上げ新年の御挨拶といたします。





一般財団法人 熊本県建設技術センター

理事長 宮部 静夫

令和3年の年頭にあたり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から当センターの研修の講師派遣に御協力・御支援をいただくとともに、多くの方に研修を受講いただいております。心から感謝し、厚く御礼を申し上げます。

去年は、熊本県にとって、熊本地震に加え、新型コロナウイルス感染症、7月豪雨とトリプルパンチに見舞われた年となりました。県南を中心に県民生活の基盤となる道路や橋など多くの公共施設が被災しましたが、現在、関係者一丸となった復旧・復興の取り組みが進められています。

貴協会員におかれましては、被災直後から集中的・精力的に被害調査を実施されるなど、国、県、市町村と連携を図りながら、災害支援活動に御尽力されました。また、災害査定に向けた現地測量や図面作成など、時間がない中での御対応に心から感謝申し上げます。

また、多忙な中にも、i-Costructionなど、生産性の向上につながる新たな技術導入への取組み等、日頃から技術研鑽に励まれていることに対し敬意を表する次第です。

当センターとしても、研修業務、積算などの発注者支援業務や材料試験業務等を通じて、良質な社会資本の整備の一助となるよう、日々業務に励んできたところです。

今後も引き続き、当センターに求められ

る役割を果たすとともに、関係各位の御期待にお応えできるよう、業務推進に努めて参りますので、皆様方のさらなるお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、皆様には御承知の事とは思いますが、ここで、一般財団法人熊本県建設技術センターについて、改めて簡単に御紹介いたします。

当センターは、「公共事業の円滑な執行」と「建設関連産業の発展」に資することを目的とし、官民の建設技術者を養成するための研修事業や建設工事の質的向上を図るための試験事業を行うこととして、昭和59年に財団法人として創立されたものです。

そのなかで、まず、研修事業ですが、県や市町村、コンサルタント等の建設産業界の技術職員を対象に、一般研修及び実務研修を実施しております。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当初、研修を延期または中止しておりましたが、6月中旬より、感染防止対策を徹底のうえ開始し、計28研修、約1,870名の受講をいただきました。貴協会におかれましては、9名の方に研修講師を務めていただくとともに、延べ約500名の方々に受講いただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。令和3年度に向けましても、研修時に皆様から頂きました御意見等を参考に、研修内容の見直し充実を図り、さらに質の高い研修となるよう努めて参ります

ので、御参加のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、試験事業ですが、当事業は建設工事の品質確保のため、民間を含め工事で使用されるコンクリート、アスファルト、土質などの材料試験やアスファルト混合物の事前審査を行っています。

令和2年度は、11月末現在で、コンクリート関係で約19,700本、アスファルト関係で約2,100本、土質関係で約180本の試験依頼を受けております。

今後さらに試験技術の向上を図りながら、厳格で正確な試験を通して、関係各位の期待に応えられるよう努力して参ります。

最後に、受託事業ですが、公共事業の円滑な執行と品質確保に寄与するため、県及び市町村の工事積算や設計成果の照査などの発注者支援業務を行っており、令和2年度は、11月末現在で、6件の受託を行っているところです。

そのひとつとして、令和2年7月豪雨により被災した芦北町の災害査定の支援をさせていただきました。その中で、貴協会員の方々とも復旧工法の選定などについて協議をさせていただきました。丁寧な御対応に感謝申し上げます。

また、市町村の橋梁定期点検業務については、昨年度から継続して水上村の業務を代行しています。道路構造物等の老朽化が急激に進む中、技術職員が不足している市

町村を応援するため、その対策となる橋梁補修工事の積算業務等を受託し、事業の円滑な推進を支援して参ります。

令和3年度も、当センターの創立の主旨に則り、研修、試験、受託の3事業に積極的に取り組んで参ります。

結びに、貴協会の益々の御発展と本年が会員の皆様にとりましてより良い年となりますことを祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。





熊本市都市建設局

局長 田中 隆臣

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

熊本県測量設計コンサルタンツ協会の会員各位におかれましては、日頃より、測量・設計技術の向上や業界の発展にご尽力されておられますことに心から敬意を表します。また、本市のまちづくり、とりわけ、道路や河川等、市民の安全・安心な生活を支える都市基盤の整備にご理解・ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

本年は熊本地震の発生から5年の節目を迎えますが、本市では、これまで被災された方々の生活再建を最優先に、道路や河川等のインフラ施設や被災宅地など、熊本地震からの復旧・復興に全力で取り組んでまいりました。現在、近見地区をはじめとした宅地液状化対策につきましても、平成31年（2019年）3月に対策工事に着手した先行地区において、令和2年5月中旬に工事が完了し、地下水位の低下を開始したところです。また、その他の地区につきましても、令和2年度中には全ての地区において工事発注が完了する予定となるなど、熊本地震からの復旧に一定の目途が立ったところです。

そのような中、昨年新型コロナウイルス感染症の感染拡大という、これまでに経験したことのない新たな危機に直面しました。

この新型コロナウイルス感染症による市

民生活や地域経済への影響が深刻化・長期化する中であっても、本市では、市民の皆様の安心・安全な生活を守ることを最優先に取り組むとともに、経済や雇用を下支えするため、公共事業の計画的な執行に取り組んでまいりました。また、飲食店等の換気設備等改修に関する支援とともに、市民の重要な移動手段として運行を維持されているバスや鉄道などの公共交通事業者に対する支援も行っていました。

新たに迎えた本年は、引き続き国や県、関係部局とも連携しながら必要な対策を講じてまいりますとともに、まちづくりにおいては、「多核連携都市」実現への取組をはじめ、熊本都市圏の骨格となる道路ネットワークの構築や自転車の利活用促進、さらには広々とした歩行空間の確保などによるウォークアブルなまちづくりなど「新しい生活様式」も見据えた熊本の未来を支える礎を築いてまいります。

また、本年春には、熊本駅白川口駅前広場整備事業が完了する予定であり、九州新幹線の建設を契機として、これまで国県市及びJR九州等と官民連携で集中的に進めてきた在来線の連続立体交差事業や駅前の再開発事業、区画整理事業等の一連の基盤整備が完了し、中心市街地に新たな賑わいの拠点が生まれることとなります。

一方、桜町・花畑地区においても、令和4年3月から開催する「全国都市緑化くまもとフェア」のメイン会場としても使用す

る「花畑広場」が本年秋に完成の予定です。今後は、これらの2大拠点をはじめとした中心市街地における回遊性向上の取組や、現在、バス事業者5社において全国に先駆けて進められている共同経営型の事業形態に向けた取組への支援、さらには熊本らしい魅力的な夜間景観の演出など、車中心から人中心の都市空間への転換を図り“昼も夜も歩いて楽しめるまちづくり”を進めていきたいと考えております。

さらに、昨年7月に熊本県南部を中心に甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨災害」をはじめ、近年日本各地で自然災害が頻発しており、国土強靱化に向けた対策は喫緊の課題となっております。本市におきましても、ハード・ソフトの両面からの対策を加速化させ、災害に強いまちづくりの実現に向け全力で取り組んでまいります。

このように、本年は未来の熊本の礎づくりにおいて重要な一年となります。引き続き、熊本地震からの復興はもとより、さらなる熊本の発展に向け全力で取り組んでまいりますので、皆様方のなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が皆様方にとりまして、素晴らしい飛躍の一年となりますことを心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和2年国土交通大臣表彰（建設事業関係功労者）



建設事業関係功労者等表彰は、年齢55歳以上、原則65歳までの方に対して建設事業関係に30年以上継続して従事し、業務に精励するとともに、団体の役員として5年以上在職し業界の発展に寄与された方に授されるものです。

藤本祐二様（(一社)熊本県測量設計コンサルタント協会会長、(株)有明測量開発社社長）は、この度永年にわたり測量設計業の発展に尽力されたのが認められ国土交通大臣表彰状を授与されました。誠にめでとうございます。

（令和2年11月25日、国土交通大臣表彰式（於：国土交通省））

熊本県優良委託業務等表彰を8社が受賞

平成28年度から始まった優良委託業務等表彰の測量・土木設計部門において今年度は協会員8社13事業が受賞されました。

（敬称略）

業者名	委託名	管理技術者
(株)建設プロジェクトセンター	国道218号（年瀬橋他）防安全（橋梁補修）橋梁点検委託	中村 秀樹
(株)建設プロジェクトセンター	満願寺黒川線（瀧の上橋）防災安全交付金（橋梁補修）設計委託	佐々木憲幸
(株)有明測量開発社	境川単県河川海岸維持管理（緊急）（設計）委託	城戸 照洋
(株)水野建設コンサルタント	亀川ダム他単県ダム（堆砂測量）委託 他合併	中村 龍介
(株)水野建設コンサルタント	管内国道他点検防災安全交付金（橋梁補修）委託 他合併	桑田 利一
(株)水野建設コンサルタント	阿蘇停車場線防災安全交付金（交通安全）測量設計委託	宮崎 憲治
(株)ワコー	国道219号単県道路調査（測量設計）委託 他合併	渡邊 久明
(株)ウラタ・ジビル・コンサルタント	八代港国際クルーズ旅客受入機能高度化（駐車場施設）設計委託	田尻 雅彦
(株)十八測量設計	国道389号広域連携交付金（2工区構造物詳細設計）委託	津田 圭司
(株)水野建設コンサルタント	国道325号活力創出基盤交付金（改築）道路設計業務委託 他合併	荒川 雅俊
(株)ワコー	球磨管内防災安全交付金（橋梁定期点検2）その9委託	二子石論史
(株)熊本建設コンサルタント	松島馬場線防災・安全交付金（改築）用地測量委託	岩下 敦
(株)水野建設コンサルタント	震災ミュージアムアクセス道路検討（測量設計）委託	宮本 克彦



（令和2年12月15日（火）ホテル熊本テルサで表彰状が授与されました）

インターンシップの受入状況報告

当協会では、数年前から九州測量専門学校や県内の土木科を有している高校を対象に、インターンシップの受け入れを行っています。

将来的に土木分野に関わる可能性の高い高校生に、測量設計会社で実際に測量機器やCADに触れて理解を深め興味を持ってもらうことで、就職活動、そして進路の決定の際に役立ててもらいたいと考えています。

今年度は新型コロナウイルスや令和2年7月豪雨災害により中止する学校等がありましたが、私たちの業界を知っていただく機会と業界全体の人材確保・育成の一環として、今後とも継続していきたいと考えています。

・九州測量専門学校

新型コロナウイルスと令和2年7月豪雨災害発生により中止

・熊本工業高校

5社 11名

実施期間 令和2年11月30日～令和2年12月4日（5日間）

・熊本農業高校

令和2年7月豪雨災害発生により受入中止

・開新高校

15社 28名

実施期間 令和2年11月9日～令和2年11月13日（5日間）

【研修内容】

- ・測量設計業務内容の解説、測量機器の説明、現場実習、CAD演習



(測量設計業務内容の解説)



(現場実習)

令和2年7月豪雨災害に係る協会活動報告

【被害概要（公共土木 R2.8月現在、農林は確定値）】

～ 熊本地震と比較し、公共土木は同規模以上、農地等は約2/5、林道等は約4倍～

※1) 公共土木施設災害（河川、道路、砂防、橋梁、公園等）

・被害額 約1,452億円（4,715箇所）

【熊本地震等：約1,379億円（2,907箇所）】

※2) 農地等災害（田、畑、農業用施設（農道・水路））

・被害額 約406億円（約15,195箇所）

【熊本地震等：約910億円（約30,000箇所）】

※3) 林務施設災害（林道、山地崩壊、林地荒廃防止施設、作業道）

・被害額 約476億円（約4,285箇所）

【熊本地震等：約117億円（約870箇所）】

1. 災害対策本部会議

- ・第1回：7/4 14時～；① 被害状況の把握
② 県との災害協定に基づく球磨地域振興局への被災状況調査への協力人員の確保
- ・第2回：7/5 9時～；球磨・芦北・八代地域振興局と意見交換・現地調査
- ・第3回：7/6 10時～；① 被害状況の把握
② 今後の活動に向けた課題整理
- ・第4回：7/8 13時～；① 被害状況の把握
② 県との災害協定に基づく被害状況調査の確認
③ 今後の活動に向けた課題整理
- ・第5回：7/20 14時～；① 被害状況の把握
② 球磨村への被害状況調査の人員確保
③ 県土木部への要望事項の整理
④ 県外への支援要請の検討
⑤ 災害義援金
- ・第6回：7/29 16時～；① 被害状況の把握
② 協会に支援要請のあった市町村への対応検討
③ 県外への支援要請の検討
④ 災害義援金
- ・第7回：8/13 14時～；① 被害状況の把握
② 協会に支援要請のあった市町村への対応検討
③ 県外への支援要請の検討
④ 農地等災害の状況報告・確認

2. 県との災害支援協定等に基づく支援活動

＊活動内容：被害状況調査、応急復旧等の技術的助言・設計提案等

- ・球磨地域振興局（37社・延230名） 7/5（日）～7/10（金）【被災箇所：33路線、7河川・砂防】
- ・芦北地域振興局（11社・延213名） 7/5（日）～7/10（金）【被災箇所：13路線、39河川・砂防】
- ・八代地域振興局（20社・延117名） 7/6（月）～7/10（金）【被災箇所：14路線、1河川・砂防】
- ・球磨村（14社・56名） 7/22（水）～7/25（土）

3. 発注者の災害査定等の測量設計業務への支援

【市町村】

- ・7/9 八代市 : 八代市河川敷都市公園の受託業者の確保
- ・7/15 八代市(泉町) : 道路(被災17箇所)の受託業者の確保
- ・7/20 八代市(泉町) : 林道(被災8箇所)の受託業者の確保
- ・7/22 八代市(坂本町) : 林道(被災約58箇所)の受託業者の確保
- ・7/22 五木村 : 道路(被災約36箇所)の受託業者の確保等
- ・7/25 小国町 : 林道(被災約23箇所)の受託業者の確保等
- ・7/29 五木村 : 林道(被災約138箇所)の受託業者の確保等
- ・8/11 球磨村 : 林道(被災約89箇所)の受託業者の調査(受託業者不足)
- ・8/17 錦町 : 林道(被災約20箇所)の受託業者の調査(受託業者不足)
- ・9/16 球磨村 : 農災(被災約58箇所)の受託業者の確保
- ・9/17 球磨村(再) : 林道(被災約24箇所)の受託業者の確保
- ・9/17 錦町(再) : 林道(被災約16箇所)の受託業者の確保

【熊本県】

- ・8/6 土木部 : 発注者支援業務(要請人数20名)の調査(※対応人数1人)
- ・8/12 阿蘇振興局 : 河川砂防(被災約10箇所)の受託業者の確保
- ・8/18 球磨振興局 : 河川砂防(被災約64箇所)の受託業者の確保

【県外支援の要請】

- ・8/19 九州各県に支援の意向調査
(五木村、球磨村の林道災)
⇒福岡県から2社のみが支援
の意向(五木村の被災箇所)。



4. 熊本県、自民党県連への要望等

- ・ 7/8 熊本県土木部、農林水産部との意見交換（被害状況等の情報共有、協会の支援活動の報告等）
- ・ 7/21 熊本県土木部への要望（積算歩掛、査定情報の共有、通常業務の工期延長等）
- ・ 8/12 熊本県農林水産部農村振興局との意見交換
（農地・農業土木関係災害の被害状況、市町村の意向状況等）
- ・ 8/21 前川自民党県連会長への現状と課題報告(要望)
（査定期間の延長、通常業務等の工期延長等優先度の選別、受発注者の情報共有等）
- ・ 8/24 田嶋副知事、農林水産部長、土木部政策審議監への要望
（査定期間の延長、通常業務等の工期延長等優先度の選別、受発注者の情報共有等）
- ・ 8/28 土木部、農林水産部との要望事項に対する事務的意見交換
（査定期間の延長、通常業務等の工期延長等優先度の選別、受発注者の情報共有等）
- ・ 9/3 熊本県農林水産部林業振興課との意見交換
（市町村管理の林道災の災害査定等への支援等）
- ・ 10/19 土木部との要望事項に対する事務的意見交換
（査定期間の延長、実施設計の日程等、発注者支援業務等）

5. 県の通知等

- ・ 7/6 農林水第58号、監第231号「7月4日からの大雨被害に係る緊急工事・緊急建設コンサルタント業務等委託の迅速かつ適切な発注について」発出
- ・ 7/10 監第246号「令和2年7月豪雨に伴う応急復旧工事等の優先的かつ円滑な実施について」発出
- ・ 8/28 事務連絡「令和2年7月豪雨に伴う応急復旧工事等の優先的かつ円滑な実施について」発出（再）
- ・ 9/10 技管第214号、土技第282号「令和2年7月豪雨に起因する業務委託等における旅費交通費等の取り扱いについて」発出
- ・ 12/10 事務連絡「大規模災害時の災害復旧工事に伴う測量及び設計業務の取扱いについて」発出（簡易査定に伴う積算項目の追加と詳細測量設計業務の適正履行期間の確保）



2020年7月 人吉球磨豪雨災害 ボランティア活動紹介



【会社名】

株式会社 有明測量開発社

【期間・場所】

7月18日 芦北町

7月19日 人吉市

7月26日 人吉市

9月19日 芦北町

災害発生時直後から現場調査に入り、被害状況を目の当たりにし、少しでも復興の力になればとの思いで参加しました。日頃、仕事で培ったチームプレーを発揮し手際よく作業が進み、皆さんに感謝されうれしく思うと共に、災害業務への意欲もより一層高まりました。



人吉市下新町の土砂排出

【会社名】

株式会社 和調査設計

【期間・場所】

7月13日～8月9日（10日間）

人吉市下新町

球磨村一勝地

私は、7月13日から10日参加。活動地域は、人吉市下新町町内と球磨村一勝地製粉工場でした。浸水家屋の家財道具運び出し、床下の泥出し、水路の土砂出しを行いました。隣家で黙々と作業する地元高校生ボランティアには頼もしく思えました。



【会社名】
カンセイコンサルタント株式会社

【期間・場所】

7月11日 渡地区
7月12日 愛掌殿球磨川

日常生活を送ることが困難な被災地を少しでも手助け出来ればと思いボランティアに参加しました。主に住宅や施設に堆積した瓦礫や土砂の撤去等を行いました。

今回のボランティアに参加したことで、今後の復旧業務等で被災地や被災者の為に出来ることを改めて考える良いきっかけになりました。



【会社名】
株式会社 三晃建設コンサルタント

【期間・場所】

10月31日 人吉市上青井町

令和2年7月豪雨災害では、観光客や地元住民の憩いの場であった、国宝青井神の蓮池に土砂とともに災害ごみが流れ込んでおり、この状況をどうかしようとして有志が立ち上がりました。

当日はボランティアや高校生、行政関係者、地元住民が一致団結して災害前の景観を取り戻すべく、尽力いたしました。ゴミの撤去、土砂出しをしましたが、自然災害の恐ろしさ、復旧への道のりは大変なものであると痛感しましたが、今後も活動に参加していきます。

自民党熊本県支部連合会・熊本県 (土木・農林)との意見交換

例年実施している 自民党熊本県支部連合会・熊本県(土木・農林)との意見交換は、今年度は令和2年12月10日(木)に実施しました。

自民党熊本県支部連合会からは、前川県連会長、藤川団長、松田幹事長、吉永政調会長、小早川総務会長、高木建設部会長、楠本建設副部会長等に出席いただきました。

熊本県からは、上野土木部長をはじめ土木部幹部、農林水産部幹部の方々に出席いただきました。

協会からは、以下に記載している項目について要望し、大変有意義な意見交換となりました。引き続き自民党熊本県支部連合会、県当局と意見交換をし要望が実現するよう働きかけていきます。

【要望項目】

1. 「国土強靱化」や「災害に強い県土づくり」のための自然災害防止対策事業に必要な予算の確保
2. 通常予算及び既存インフラの維持管理(点検・診断)のための必要な予算の確保
3. 県内企業の優先活用と育成
 - (1) R1年度は県発注約80億円のうち、県内業者受注は約63億円(79%)、県外業者受注は約17億円(21%)。引き続き、「熊本県中小企業振興基本条例」に基づく県内企業の育成
 - (2) 既存橋梁補修や舗装補修等に係る調査測量設計業務において、県内企業への更なる優先発注
 - (3) 林務関係の発注において、受注機会のより一層の拡大・育成



4. 働き方改革と新型コロナウイルス対策を考慮した発注等

- (1) 発注や履行期限の平準化への更なる推進(早期発注、繰越、翌債の活用等)
- (2) 履行期間(期限)の柔軟かつ適正な設定(業務の一時中止、繰越等)
- (3) 発注者支援業務や通常業務へのWEB会議のR3年度からの導入
- (4) 県・市町村の「指名願い」の提出書類の統一等の推進
- (5) 国の取組み(R2年度～)に準じて、県においても契約の電子化への推進

5. 大規模災害への対応の在り方

- (1) 一定の災害査定期間の確保(年内査定をR3年1月まで延長)
- (2) 簡易査定後の工事発注のための詳細設計には一定期間の確保
- (3) 簡素化査定で生じる作業内容の追加項目(簡易平面図、代表断面図等)と変更設計への対応を各出先機関へ周知徹底
- (4) 大規模災害時の簡素化査定の課題整理・検証と解決に向けた意見交の場の設置
- (5) 支援活動中の作業員等の安全確保や経営基盤の維持・確保の観点から、県と協会との「大規模災害時の支援協定」の適正対価への見直し



リモートワーク特集

New Normal に対応したリコー日本の働き方の事例紹介

テレワークの実践による作業効率の改善

リコー日本では 2011 年以降、営業職の直行直帰を推進してきました。モバイルとクラウドのツールを積極的に活用し、外出先や自宅からでも、オフィスと同様の環境で業務に取り組むことが可能に。現在では在宅勤務も可能となりました。場所にとらわれない働き方により作業効率が改善し、新規訪問件数が 30% 増加、社員からは「移動時間や通勤時間を有効活用できるようになった」「活動報告書や見積書作成のために帰社する必要がなくなり残業も減った」と好評です。



Web 会議を導入し、意思決定スピードが向上

リコー日本では、様々なシーンで Web 会議を活用。外出中の社員や在宅勤務中の社員も、ノート PC やスマートフォンなどのアプリを利用してミーティングに参加することができ、意思決定のスピードが向上しています。「拠点間での簡易な打ち合わせができて便利」「急な打ち合わせでも会議室を予約する必要がない」「在宅でもコミュニケーションがスムーズ」「得意先から自社内の担当者と Face to Face の打ち合わせができるので信頼を得やすい」と好評です。



適正な労働時間管理を通じて無理のない働き方を実現

リコージャパンでは、勤務時間だけでなく PC 利用時間のログも併せて管理することで、適正な労働時間の管理・把握を徹底しています。また、テレワークも考慮し、Web ブラウザから入社／退社を打刻する仕組みを導入。社員一人ひとりに合った、無理のない働き方を推進しています。さらに、申請なしの残業を禁止し、勤務時間と PC 利用時間の差異がある場合には理由を記録したうえで指導。長時間労働やサービス残業の是正・抑止につなげています。

テレワークは難しくない

テレワークできる
環境を作る



どこからでも
工事情報を確認する



施工の生産性を
あげる



労務管理を
効率的に行う



テレワークの導入は難しくありません。

現場でこうなればいいなと思っている状況を効率化することができるかもしれません。

例えば現場とオフィス間を Web 会議（Teams や Zoom など）でつなぎ工程管理を行う。

施工図面の確認や指示・進捗・確認を協力会社とリモートでやりとりを行うことにより、工程管理の効率を上げることができる。このような現在オフィスに戻らないと出来ないような業務を現地でい作業効率を上げることが可能です。



リコージャパンでは、PC・モバイルルーター・クラウドサービスを活用し日々の営業活動、保守活動を効率的に行っています。

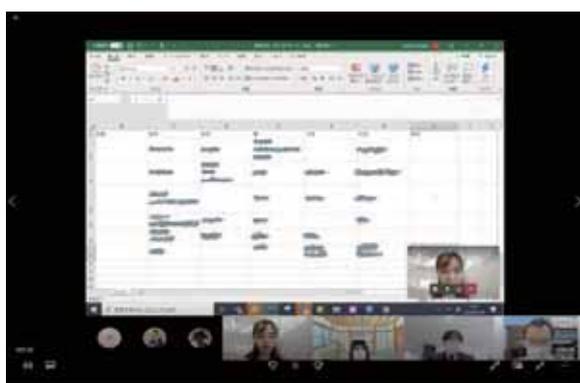
リコージャパン株式会社

熊本支社での実践事例

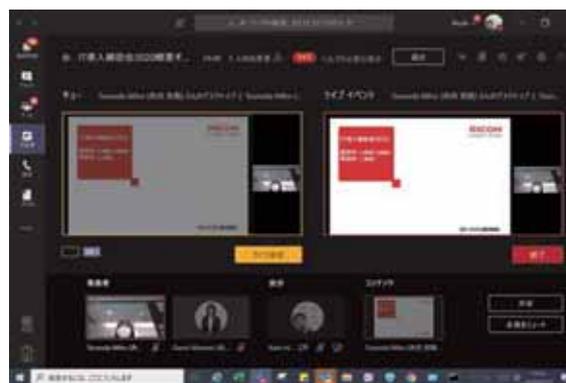


熊本支社では生産性向上改革のひとつとして「場所にとられない働き方の実現」、「コミュニケーションスタイル改善」を目標にワークスタイルを変革させてきました。当初は3年かけてテレワーク環境を定着させていくというスケジュール設定がありましたが、感染症の世界的流行により、以下5項目の基本方針のもと事業活動を実施しています。

1. グループ従業員等およびその家族の生命・健康維持を優先する
2. 社会への影響を配慮し、可能な限り感染者増加を防止する
3. 社会・お客様から求められるサービス・製品の継続的提供のための努力をする
4. 経営基盤の維持に努める
5. 通常業務を継続できない " 非常に重大なパンデミック " に備える (BCP 対応準備)



朝礼などのミーティングはオンラインツールを活用



資料の共有もできるので不便を感じない



社員とのやりとりはチャットを利用。資料やメッセージを送れて便利
スマートフォンのアプリとも連携しているので場所を選ばず効率的な活動ができる

働く場所も業務に合わせて効率化



固定席を廃止し、個人キャビネットも集約

社内はフリーアドレスを採用し、TPOにあわせた様々な空間を設けました。その日の働き方によって場所を選び生産性、コミュニケーションの機会を増やしています。現場に出ている営業やカスタマーエンジニアとも要望に合わせてオンラインツールを活用してリモートでサポートする環境を用意。日々変化する業界において、お客様のご期待に添えるよう私達リコー日本の社員も変化し続けています。

事業活動とSDGsを一体化

リコー日本では、事業活動を進める中で働き方改革やジェンダーフリー、省エネなどに目標を掲げて取り組んでいます。今後、製品・サービスによるお客様先でのSDGsへの定量的な貢献度を盛り込んだ提案活動を行います。また、その総量を経営目標として設定していきます。提案活動の当初の対象は、最新複合機「RICOH IM C製品群」の省エネ性能によるCO2削減や、自家消費型太陽光発電サービスによる創エネ・災害時の電源供給の二項目でスタートします。生産性向上、医療・介護、質の高い教育などへの貢献についても対象に加えていく予定です。



テレワークにより時間の有効活用が出来、質の高い事業活動ができるようになりました。今後もリコー日本は皆様に選んでいただける企業を目指して活動してまいります。

リコー日本株式会社

感染リスクを低減しながら、快適なオフィスづくりへの社内実践によるご提案いたします！



空気をキレイに、温度と湿度をコントロール

- ・新鮮な空気を保ち、消毒による衛生環境を確保



換気の悪い 密閉空間 多数が集まる 密集空間 間近で会話 密接空間

- ・人との接触機会を減らし、密を避ける



感染予防しながら快適なオフィスづくり

- ・ABW（働く時間と場所を自由に選択）
- ・五感*を快適にするオフィス（センターアワー、天然素材家具、アロマ、音楽機器、カフェマシーン等の設置）

AI体温検知カメラによる入室管理

TBS EYE 型式:UFT-2060TM

- 異常体温アラート
- マスクアラート
- 自動キャプチャ
- 最大3万枚写真保存

主な特徴

- ・体温より1mの範囲で検知範囲を切り、検知を拡大した場合は音声と画像でお知らせします
- ・マスクの有無も検出しお知らせします
- ・アフロット実装時の扉と扉を自動閉鎖、PCで検知確認も出来ます。



一定の距離を保つレイアウトの見直し

- ・ソーシャルディスタンスを保つ
- 安心・安全なレイアウト

- 机の向きを変える
- 可動型デスク&ホワイトボードで距離を保ちディカッション
- カーペットを色分けし視覚的にソーシャルディスタンスを保つ

動線を分け、飛沫飛散を抑える



熊本支社
3Fレイアウト

- ローパーティションで仕切る



飛沫感染防止パネル

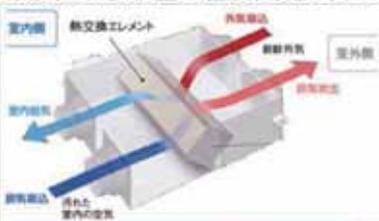


アクリル製、塩化ビニール製等素材・サイズ・形も様々です。オーダー製作も可能です。

換気 (高性能換気設備)



省エネ換気しながら一年中快適な空間に。換気による部屋の温度変化を抑え、空調負荷を軽減。



空気は入れ替えを行いながらエアコンで整えた温度は再び室内へ。

エアコンと連動することでさらに快適&効率的な換気モードが実施できます。

- 人の不在を検知し不在時に停止
- エアコン立ち上げ時に外気負荷を低減
- 換気モード自動切替、自動ナイトバージョン等



(ダイキン工業)

ローパーティション



可動式のローパーティションで、オープンスペースの中でもデスク間の距離を取ったり、飛沫対策動線確保にも対応。



パーティションホワイトボード (PLUS)



**空気をキレイに、
温度と湿度をコントロール**

・新鮮な空気を保ち、
消毒による衛生環境を確保



換気の悪い 多数が集まる 間近で会話
密閉空間 密集空間 密接空間

・人との接触機会を減らし、密を避ける

AI体温検知カメラによる入室管理



TEB EYE 型式:UFT-2060TH

異常体温アラート
マスクアラート
自動キャプチャ
最大3万枚写真保存

主な特徴

・半径より1mの範囲で体温測定を行い、検知を知らせる場合は
音声と画像でお知らせします
・マスクの有無も検知・お知らせします
・アラート発生時の録画と照り付け機能、PCで確認可能となります。



**一定の距離を保つ
レイアウトの見直し**

・ソーシャルディスタンスを保つ
安心・安全なレイアウト



可動型デスク&
ホワイトボードで
距離を保ち
ディスカッション



飛沫感染防止パネル



アクリル製、塩化ビニール製等
素材・サイズ・形も様々です。
オーダー製作も可能です。

換気 (高機能換気設備)

省エネ換気しながら一年中快適な空間に。
換気による部屋の温度変化を抑え、空調負荷を軽減。



空気は入れ替えを行いながらエアコンで整えた温度は再び室内へ。

エアコンと連動することでさらに快適&効率的な換気モードが実施できます。



- 人の不在を検知し不在時に停止
 - エアコン立ち上げ時に外気負荷を低減
 - 換気モード自動切替え、自動ナイトバージョン等
- (ダイキン工業)

ローパーティション

可動式のローパーティションで、オープンスペースの中でもデスク間の距離を取ったり、飛沫対策動線確保にも対応。



スタンディング用
-ト (PLUS)

会員の異動

(代表者変更)

(株)フジ建設コンサルタント 廣野 茜

(住所変更)

(株)フジ建設コンサルタント

〒860-0826

熊本市南区平田1丁目14番8号

会 員 名 簿

(50音順)

役職名	会社及び代表者名	所在地	TEL	FAX
	㈱アイコンサルタント	〒866-0892	0965-30-7333	0965-30-7334
	池 端 隆 幸	八代市古閑下町383		
理 事	旭測量設計㈱	〒861-2101	096-368-3074	096-367-8965
	吉 田 史 朗	熊本市東区桜木4丁目1番58号		
	㈱旭技研コンサルタント	〒861-8038	096-389-3891	096-389-3892
	田 英 幸	熊本市東区长嶺東2丁目26番6号		
理 事	アジアプランニング㈱	〒862-0970	096-372-6440	096-363-6809
	本 口 晴 年	熊本市中央区渡鹿7丁目15番28号		
	㈱阿蘇測量設計	〒862-0912	096-365-8258	096-369-3392
	西 村 進 次	熊本市東区錦ヶ丘11番23号		
会 長	㈱有明測量開発社	〒861-4108	096-381-4000	096-381-2204
	藤 本 祐 二	熊本市南区幸田2丁目7番1号		
	㈱ウラタ・シビル・コンサルタント	〒861-8041	096-389-4577	096-389-4455
	田 尻 雅 彦	熊本市東区戸島6丁目34番1号		
	㈱栄泉測量設計	〒861-4108	096-378-9874	096-378-9875
	江 山 栄 一	熊本市南区幸田2丁目10番7号		
	㈱エー・シー・イー	〒861-8028	096-213-6900	096-213-6901
	宮 崎 茂 晴	熊本市東区新南部3丁目7-75-313		
	㈱大森エンジニアリング	〒861-8001	096-338-9077	096-339-2584
	大 森 正 人	熊本市北区武蔵ヶ丘5丁目1番3号		
監 事	㈱オークスコンサルタント	〒861-8046	096-389-8111	096-389-6600
	田 上 泰 生	熊本市東区石原3丁目9番5号		
	㈱和調査設計	〒861-8035	096-380-2188	096-380-2280
	米 村 隆 博	熊本市東区御領2丁目18番70号		
	㈱カネカ測量設計	〒869-0502	0964-33-1218	0964-33-0510
	元 松 敏 郎	宇城市松橋町松橋470番地2		
	㈱河津測量設計	〒862-0933	096-367-1548	096-367-0906
	河 津 憲 太 郎	熊本市東区小峯2丁目2番61号		
	カンセイコンサルタント㈱	〒862-0941	096-378-0878	096-378-1456
	西 畑 清 志 郎	熊本市中央区出水6丁目5番6号		

会員名簿

役職名	会社及び代表者名	所在地	TEL	FAX
	㈱九 英 池 田 雄 一	〒862-0954 熊本市中央区神水2丁目10番7号	096-381-5050	096-381-5060
	㈱九州開発エンジニアリング 原 田 卓	〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘33番17号	096-367-2133	096-367-2158
	㈱九州技研コンサルタント 山 下 重 明	〒861-2118 熊本市東区花立2丁目21番20号	096-360-1191	096-360-0920
	㈱熊本県弘済会 池 田 真 也	〒862-0917 熊本市東区榎町16番7号	096-360-2266	096-360-2471
理 事	㈱熊本建設コンサルタント 柴 田 浩 史	〒862-0917 熊本市東区榎町16番52号	096-367-4111	096-367-4911
	(有)ケルン・コンサルタンツ 横 山 洋 三	〒862-0971 熊本市中央区大江2丁目14番64号	096-371-1067	096-371-2716
	㈱建設プロジェクトセンター 中 村 秀 樹	〒861-8002 熊本市北区弓削4丁目18番1号 ロイヤルコンフォート光の森802号	096-348-7800	096-348-7801
	興栄測量設計㈱ 山 下 祐 二	〒861-2102 熊本市東区沼山津3丁目13番7号	096-369-5305	096-369-6624
	(有)工建コンサルタント 甲 斐 孝 志	〒862-0911 熊本市東区健軍3丁目47番8-105	096-365-5799	096-365-5763
	㈱光進測量社 谷 住 敬 二	〒862-0950 熊本市中央区水前寺6丁目48番31号	096-383-0037	096-384-5887
	(有)興南測量設計事務所 今 村 一 紀	〒866-0895 八代市大村町3937-4	0965-43-1066	0965-46-1619
副会長	㈱興和測量設計 内 田 貴 士	〒861-5501 熊本市北区改寄町2141-1	096-272-7711	096-272-7770
	㈱コンサルハマダ 磯 崎 敦 子	〒861-8034 熊本市東区八反田1丁目1番15号	096-385-1171	096-387-2066
	㈱コンサルユニックス 平 山 久 美 子	〒862-0910 熊本市東区健軍本町4番3号	096-365-7565	096-369-0718
	三共コンサルタント㈱ 松 尾 誠 志 郎	〒861-4115 熊本市南区川尻4丁目6番57号	096-358-6555	096-358-6604

会員名簿

役職名	会社及び代表者名	所在地	TEL	FAX
	㈱三和測量設計社 中 村 茂	〒861-8016 熊本市東区吉原町252番地 3	096-380-1138	096-380-1402
	㈱三晃建設コンサルタント 西 英 記	〒861-2102 熊本市東区沼山津 4 丁目22番 3 号	096-369-1446	096-369-2282
	㈱シー・バス・プランニング 小 山 百合生	〒862-0911 熊本市東区健軍 1 丁目 7 番21号	096-282-8678	096-282-8679
	㈱シビコン 桑 原 和 秀	〒861-0136 熊本市北区植木町岩野226番地 12	096-227-6866	096-227-6867
理 事	㈱十八測量設計 富 永 勝 也	〒862-0972 熊本市中央区新大江 3 丁目 9 番48号	096-383-1800	096-385-5352
	㈱新興測量設計 石 原 健 二	〒861-8010 熊本市東区上南部 3 丁目32番 8 号	096-380-9808	096-380-9810
	㈱洲崎建設コンサルタント 田 畑 幸 治	〒861-2102 熊本市東区沼山津 2 丁目 7 番50号	096-369-9857	096-365-3345
理 事	㈱スベック 高 宮 龍 二	〒861-8002 熊本市北区弓削 4 丁目17番 3 号	096-215-2133	096-215-2134
	㈱創建技術コンサルタント 柏 原 政 廣	〒861-4172 熊本市南区御幸笛田 3 丁目 5 番11号	096-379-8831	096-379-8838
	双建コンサルタント(株) 積 幸 昭	〒862-0970 熊本市東区渡鹿 8 丁目 1 番38号	096-366-0755	096-363-5828
	㈱タイセイプラン 笹 路 和 弘	〒862-0924 熊本市中央区帯山 1 丁目44番39号	096-381-5665	096-383-7348
	㈱大平総合プラン 尾 村 龍 信	〒862-0920 熊本市東区月出 2 丁目 5 番76号	096-387-4107	096-383-2626
	㈱高木測量設計 高 木 信 一	〒869-2301 阿蘇市内牧260番地 1	0967-32-0566	0967-32-0729
	(有)谷山測量設計事務所 谷 山 政 治	〒861-8044 熊本市東区神園 2 丁目10番 5 号	096-380-4472	096-380-5796
	㈱第一エンジニアリング 増 岡 泰 憲	〒861-2118 熊本市東区花立 3 丁目21番10号	096-360-1610	096-360-1617

会員名簿

役職名	会社及び代表者名	所在地	TEL	FAX
	㈱第一コンサルタント	〒861-4206	0964-27-4534	0964-27-4547
	坂 口 隆 之	熊本市南区城南町さんさん1丁目11番地22		
	㈱大進コンサルタント	〒861-2102	096-365-0112	096-365-0113
	池 端 秀 幸	熊本市東区沼山津4丁目2番22号		
	(有)地域開発設計社	〒862-0926	096-382-8333	096-382-8507
	上 野 茂 浩	熊本市中央区保田窪1丁目1番33号		
	㈱中央測量設計	〒862-0956	096-383-3283	096-382-5202
	古 閑 祐 治	熊本市中央区水前寺公園28-6 ダイヤモンドビル401号		
理 事	㈱東亜建設コンサルタント	〒862-0920	096-384-2265	096-384-3867
	大 見 多 佳 人	熊本市東区月出2丁目5番74号		
	㈱東海測量設計	〒861-8045	096-380-7570	096-380-1120
	水 間 信 次	熊本市東区小山2丁目4番20号		
	東和測量設計㈱	〒861-8039	096-365-6745	096-365-6747
	岩 崎 孝 司	熊本市東区長嶺南6丁目20番70号		
	㈱都市開発コンサルタント	〒862-0916	096-360-0211	096-360-0212
	下 田 勝 則	熊本市東区佐土原1丁目14番21号		
	トラストコンサルタント㈱	〒862-0965	096-379-6640	096-379-6738
	清 田 貴 司	熊本市南区田井島2丁目10-15		
	㈱長田測量設計	〒861-8007	096-338-7755	096-339-7233
	甲 斐 真 也	熊本市北区龍田弓削1丁目2番5号		
副会長	西日本測量設計㈱	〒862-0918	096-367-8900	096-367-8996
	山 下 定 男	熊本市東区花立5丁目5番87号		
	㈱ハイタカ	〒861-0106	096-273-7112	096-273-7113
	加 藤 定 則	熊本市北区植木町豊田608番1号		
	㈱パブリックコンサルタント	〒862-0916	096-360-3138	096-360-3118
	村 上 通	熊本市東区佐土原1丁目9番8号		
	㈱日田プランニング	〒862-0933	096-331-5820	096-331-5821
	船 越 清 人	熊本市東区小峯2丁目5番21号		
	㈱ヒライ・コンサルタント	〒861-8065	096-344-0343	096-344-0349
	平 井 清 隆	熊本市北区清水東町12番30号		

会員名簿

役職名	会社及び代表者名	所在地	TEL	FAX
	㈱福永測量設計 福 永 三 男	〒861-8043 熊本市東区戸島西1丁目29番33-607号	096-360-3855	096-368-7184
	㈱フジ建設コンサルタント 廣 野 茜	〒860-0826 熊本市南区平田1丁目14番8号	096-288-2937	096-288-2938
	㈱富友測量設計 片 山 哲 次	〒861-8038 熊本市東区長嶺東6丁目13番10号	096-273-9870	096-273-9871
	㈱ホープ建設コンサルタント 小野川 洋	〒862-0969 熊本市南区良町2丁目8番8号	096-379-7545	096-379-7546
理 事	㈱水野建設コンサルタント 椎 葉 晃 吉	〒862-0933 熊本市東区小峯2丁目6番26号	096-365-6565	096-367-6290
	㈱三浜測量設計社 志 水 共 一	〒861-2106 熊本市東区東野3丁目17番16号	096-360-2913	096-367-0522
	㈱八千代コンサルタント 嶋 崎 豊	〒862-0913 熊本市東区尾ノ上1丁目25番21号	096-387-6350	096-387-6348
	㈱祐水コンサルタント 宮 田 忠 明	〒862-0913 熊本市東区尾ノ上2丁目18番3号	096-340-1167	096-340-1667
理 事	㈱フコー 浦 上 善 穂	〒861-4172 熊本市南区御幸笛田3丁目19番1号	096-370-3333	096-373-2323
	㈱ワールドコンサルタント 吉 田 隆 臣	〒862-0950 熊本市中央区水前寺6丁目38番10号	096-384-1844	096-384-1813

株式会社 アイコンサルタント

代表取締役 池端 隆幸



熊本県八代市古閑下町383

TEL 0965-30-7333 FAX 0965-30-7334

創業 平成22年4月（11年）

私たち、株式会社アイコンサルタントは、地域に密着した建設コンサルタントとして、技術力と品質の確保・向上に努め、高品質の業務を提供することにより、社会に貢献できる企業を目指します。



旭測量設計株式会社

代表取締役 吉田 史朗



熊本市東区桜木四丁目1番58号

TEL 096-368-3074 FAX 096-367-8965

創業 昭和37年12月（58年）

創業以来、熊本県内全域において、主に道路・河川施設全般の測量設計に地域に根付いた活動をしております。

技術の研鑽に努め、更なる信用と信頼を得られるように目指して参ります。



株式会社 旭技研コンサルタント

代表取締役 田 英幸



天草営業所



社内研修 (大津営業所)

熊本市東区长嶺東2丁目26番6号
TEL 096-389-3891 FAX 096-389-3892

創業 昭和54年2月(41年)

1979年(昭和54年)に創業以来、「良いものをつくる」という経営理念のもと、社会基盤づくりに取り組んできました。

これからも地域社会の暮らしを守る企業であるべく、「良いものをつくる」をモットーに、全社一丸となって地域社会の発展に貢献し、ともに成長することを目指して参ります。



©2010 熊本県くまモン



アジアプランニング株式会社

代表取締役 本口 晴年



熊本市中央区渡鹿7-15-28
TEL 096-372-6440 FAX 096-363-6809

創業 昭和49年7月(46年)

「人」と「技術」を通じて地域社会を支える

地域になくてはならない企業となるため、より高い技術力、創造力、対応力を持った企業を目指します。



株式会社 阿蘇測量設計

代表取締役 西村 進次



熊本市東区錦ヶ丘11-23
TEL 096-365-8258 FAX 096-369-3392

創業 昭和51年11月（44年）

信 頼
経営理念 創意工夫
日々努力

地 域 発 展 に 貢 献
復旧復興に協力いたします。



株式会社 有明測量開発社

代表取締役 藤本 祐二



熊本市南区幸田二丁目7番1号
TEL 096-381-4000 FAX 096-381-2204

創業 昭和38年11月（57年）

近年多発している大規模災害において、県内の
みならず全国の被災地で災害復旧業務に従事して
います。長年培った技術力と、今後主要となる
「i-Construction」「BIM/CIM」といった建設業界改
革施策への対応として、新しい技術も取り入れ
『創造的で安全安心な地域づくり』に努めて参り
ます。



株式会社 ウラタ・シビル・コンサルタント

代表取締役 田尻 雅彦



くまモンポート八代

熊本市東区戸島 6 丁目34番 1号

TEL 096-389-4577 FAX 096-389-4455

創業 昭和56年 6 月 (39年)

創業以来、生活を支える社会資本である道路・河川・橋梁・上下水道・公園等をはじめ、災害の防止など、安心・安全かつ時代のニーズに合わせ長く維持するための提案・計画・設計を手掛け、地域社会の発展に貢献します。



株式会社 栄泉測量設計

代表取締役 江山 栄一



新しい技術
時代にあった技術を
提供します

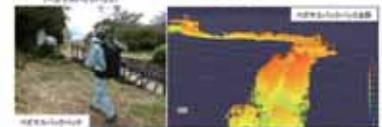


ベガサスバックパック



熊本市南区幸田二丁目10番 7号

TEL 096-378-9874 FAX 096-378-9875



創業 昭和54年 1 月 (44年)

株式会社 エー・シー・イ

代表取締役 宮崎 茂晴



熊本市東区新南部三丁目 7-75-313
TEL 096-213-6900 FAX 096-213-6901

創業 昭和63年 8 月 (32年)

熊本県内において、道路・河川施設全般の測量設計業務を主として、活動しております。

熊本の美しい自然と環境を守りつつ仕事に努めます。



株式会社 大森エンジニアリング

代表取締役 大森 正人



熊本市北区武蔵ヶ丘 5 丁目 1 番 3 号
TEL 096-338-9077 FAX 096-339-2584

創業 昭和53年11月 (42年)

私どもは、会社創立以来多くの実績を蓄積することができましたのもひとえに皆様方のおかげと厚く御礼申し上げます。

近年国民意識は、経済的な豊かさから質に変化し、安全や健康さらに生活空間づくりなど多様化しています。これからは、戦後の社会資本整備を見つめ直し、安全で豊かな空間づくりを目指して技術の向上に努めてまいります。

CSR活動

- 地域美化活動
- エコドライブ実施
- 生物多様性への取り組み



株式会社 オークスコンサルタント

代表取締役 田上 泰生



熊本市東区石原三丁目 9 番 5 号
TEL 096-389-8111 FAX 096-389-6600

創業 昭和37年 8 月 (58年)

昭和37年 (1962年) に創業以来、‘生産基盤’に関する農業土木・森林土木や、‘社会基盤’に関する一般土木について、技術力と見識を要する公共事業の測量設計業務に従事してまいりました。これからも日々技術力の向上と見識の養成に努めてまいります。



株式会社 和調査設計

代表取締役 米村 隆博



熊本市東区御領 2 丁目18番70号
TEL 096-380-2188 FAX 096-380-2280

創業 昭和49年 6 月 (46年)

創業以来、測量及び一般土木、農業土木等の調査・設計・施工管理に取り組んで参りましたが、現在コンサルタントを取り巻く環境は、大きく変化しコスト削減、環境の調和など、皆様の御期待に沿うよう努力して参ります。



©2010熊本県くまモン



株式会社 和調査設計

有限会社 カネ力測量設計

代表取締役 元松 敏郎



熊本県宇城市松橋町松橋470番地 2
TEL 0964-33-1218 FAX 0964-33-0510

創業 昭和50年 2 月 (45年)

昭和50年 2 月創業以来、宇城市を拠点とし、県内全域における道路・橋梁・河川などの測量設計調査業務に取り組んで参りました。

今後もさらに公衆の利益の優先や自然環境の保全などに取組みながら地元熊本の復興や発展のために日々研鑽を重ねて参りたい所存です。



株式会社 河津測量設計

代表取締役 河津 憲太郎



熊本市東区小峯 2 丁目 2 番61号
TEL 096-367-1548 FAX 096-367-0906

創業 昭和55年12月 (41年)

国土地理院より、熊本地震災害対策関係功労者表彰を受けました。

技術員一同技術力の向上に努め、顧客のニーズに応えた成果品を提出します。



カンセイコンサルタント株式会社

代表取締役 西畑 清志郎



熊本市中央区出水 6 丁目 5 番 6 号
TEL 096-378-0878 FAX 096-378-1456

創業 平成元年 7 月 (32年)

創業以来、環境整備クリエータとして自然環境との共存・共生を基本理念とし、生活環境の保全・保護を通じて会社資本の整備や地域社会への貢献をモットーに日々努力を続けています。



株式会社 九 英

代表取締役 池田 雄一



熊本市中央区神水 2 丁目 10 番 7 号
TEL 096-381-5050 FAX 096-381-5060

創業 昭和50年12月 (45年)

昭和50年に創業して以来、地域に貢献し、地域と共に豊かになるという経営理念をもって活動しています。

今後とも地域の発展に必要な技術力の向上に努めてまいります。



株式会社 九州開発エンジニアリング

代表取締役 原田 卓



熊本市東区錦ヶ丘33番17号
TEL 096-367-2133 FAX 096-367-2158

創業 昭和50年12月（45年）

九州沖縄を営業範囲とした建設コンサルタントとして、社会資本整備における様々なニーズにお応えすべく技術研鑽に努め、信頼されるコンサルタントを目指して努力を重ねてまいりました。特に、熊本地震後はBCPを改善し、災害発生時の即応体制強化に努めております。また、インフラ老朽化対策に対しては、維持管理における経験と実績を活かし、点検・診断・設計時に求められる技術の向上に努力しております。



株式会社 九州技研コンサルタント

代表取締役 山下 重明



熊本市東区花立2丁目21番20号
TEL 096-360-1191 FAX 096-360-0920

創業 昭和49年3月（46年）

私たちは、地域社会の発展と自然環境の維持・改善に尽くす、測量・設計のプロフェッショナル集団です。

これからも「住み良い町づくりの創出」を目指して努力して参ります。



株式会社 熊本県弘済会

代表取締役 池田 真也



熊本市東区榎町16番7号
TEL 096-360-2266 FAX 096-360-2471

創業 昭和41年5月（54年）

測量・設計業務、施工管理業務、調査業務、各種台帳作成業務などがあります。創業54年の蓄積された技術を環境にやさしく、地域づくりに貢献する新しい時代にそった業務に取り組んでいます。



株式会社 熊本建設コンサルタント

代表取締役 柴田 浩史



熊本市東区榎町16番52号
TEL 096-367-4111 FAX 096-367-4911

創業 昭和41年2月（54年）

地域のコンサルタントとして、測量設計から施工管理、点検補修まで一貫して行える特長を活かし、お客様のニーズに応じたサービスを提供しています。また最新技術の活用による技術の高度化、効率化に取り組んでいます。



有限会社 ケルン・コンサルタンツ

代表取締役 横山 洋三



熊本市中央区大江二丁目14-64

TEL 096-371-1067 FAX 096-371-2716

創業 平成2年12月(30年)

創業はじめは、九州一円を活動してききましたが、近年は熊本県内のエリアに落ち着く活動が多くなっています。全社員一人一人が役割を果たし、協力体制で今後も頑張り、また、社会の一員としての自覚を持ち努力して参ります。



株式会社 建設プロジェクトセンター

代表取締役 中村 秀樹



熊本市北区弓削4-18-1(802号)

TEL 096-348-7800 FAX 096-348-7801

創業 平成元年8月(32年)

“先人の知恵や教えを学び、新しい発想でものづくりを行う”という

がくじ ぞうしん
【学而創新】を企業理念に、土木技術を通じて地域社会貢献に努めています。100年以上続く企業を全社員一丸となって創って参ります。



2018年度
優良業務
熊本県



興栄測量設計株式会社

代表取締役 山下 祐二



熊本市東区沼山津 3 丁目13番 7 号
TEL 096-369-5305 FAX 096-369-6624

創業 昭和56年11月 (40年)

昭和56年の創業以来、道路・河川・土地改良など地域の社会資本整備において、測量・設計・調査・計画の分野で一翼を担っています。地域に貢献することを目的として、社員一同より一層努力してまいります。



有限会社 工建コンサルタント

代表取締役 甲斐 孝志



熊本市東区健軍三丁目47番 8 号
TEL 096-365-5799 FAX 096-365-5763

創業 平成 9 年 9 月 (23年)

熊本県内全域において、主に道路・河川・上下水道等の測量設計業務を行っております。

新しい技術の開発にも着手し、地域の発展に貢献できるよう努めてまいります。



株式会社 光進測量社

代表取締役 谷住 敬二



熊本市中央区水前寺 6 - 48 - 31
TEL 096-383-0037 FAX 096-384-5887

創業 昭和39年 1月13日 (56年)

昭和の雰囲気が残る社屋の小さな家庭的会社で
全員一丸となって社会に貢献できるよう日々頑張
っています。

有限会社 興南測量設計事務所

代表取締役 今村 一紀



八代市大村町3937-4
TEL 0965-43-1066 FAX 0965-46-1619

創業 昭和59年 9月 (36年)

創業以来、八代市を拠点として県南部地域を中
心に、県内の測量設計及び調査業務に携わってき
ました。

これからも信頼される企業を目指し研鑽に努め
て参ります。



株式会社 興和測量設計

代表取締役 内田 貴士



熊本市北区改寄町2141-1
TEL 096-272-7711 FAX 096-272-7770

創業 昭和53年8月(43年)

創業43年の実績を誇り調査・測量・設計等に携わっております。社会に信用・信頼される人づくり、企業づくりの為に技術力と人間力の研鑽に全社員一丸となって取り組んでおります。



株式会社 コンサルハマダ

代表取締役 磯崎 敦子



熊本市東区八反田一丁目1番15号
TEL 096-385-1171 FAX 096-387-2066

創業 昭和47年6月(49年)

主に道路・橋梁・砂防・港湾・漁港等の調査から計画・測量・設計・建設コンサルタントに及ぶ全般に対し、豊富な実績と高度な技術を活かし、総合的な社会資本整備による地域づくりをフルサポートいたします。



株式会社 コンサルユニックス

代表取締役 平山 久美子



熊本市東区健軍本町 4 番 3 号
TEL 096-365-7565 FAX 096-369-0718

創業 平成 2 年 7 月 (30年)

自然に優しい人にやさしい国土づくりに知識と創造力と確かな技術で協働・貢献する。

あんな日も、こんな日も地域と共に歩むコンサルタントを目指したい。



三共コンサルタント株式会社

代表取締役 松尾 誠志郎



熊本市南区川尻 4 丁目 6 番57号
TEL 096-358-6555 FAX 096-358-6604

創業 昭和50年 2 月 (45年)

「人と自然の調和を未来へ」の企業理念を基に社会資本整備を通じ地域と社会に貢献してまいりました。先端技術を導入し、迅速かつ高品質な技術力を提供していけるよう注力して参ります。



Sankyo Consultant Co., Ltd

株式会社 三和測量設計社

代表取締役 中村 茂



熊本市東区吉原町252番地 3
TEL 096-380-1138 FAX 096-380-1402

創業 昭和40年 4 月（55年）

熊本の地域に根付いた社会基盤整備や災害復旧支援などの公共事業に携わってきました。

次の世代を担う社員への技術継承、仕事と子育ての両立を支援し、社員が働きやすい環境づくりを推進しています。



株式会社 三晃建設コンサルタント

代表取締役 西 英記



熊本市東区沼山津 4 丁目22番 3 号
TEL 096-369-1446 FAX 096-369-2282

- ・八代営業所 八代市島田町904-4
TEL 0965-32-2089 FAX 0965-32-2089
- ・人吉営業所 人吉市蓑野町568-8
TEL 0966-22-6665 FAX 0966-22-5160

創業 昭和47年10月17日（48年）

熊本県内を中心に道路・河川・土木・土地境界・橋梁点検等測量設計及び点検、コンサルタント業務に携り、災害時の対応においては国交省による受賞実績があります。今後ともさらなる信頼実績に繋げるべく、これまで培ってきた技術に加え、GPSやドローン等を用いた最新技術により、さまざまなニーズに対応し、研鑽して参ります。



株式会社 シー・バス・プランニング

代表取締役 小山 百合生



熊本市東区健軍 1 丁目 7 番 21 号

TEL 096-282-8678 FAX 096-282-8679

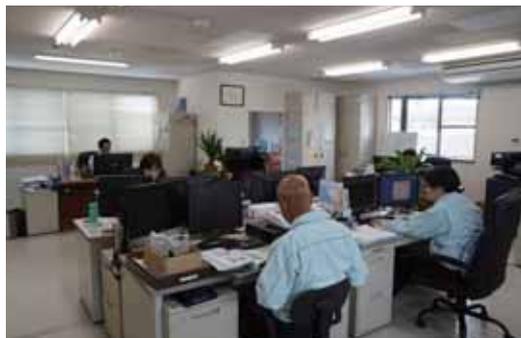
創業 平成 2 年 10 月 (30 年)

創立以来「人の和」を社是とし、「誠意、創意、熱意」を社訓として順守し、顧客のニーズと期待に対応して満足と信頼を得ることを目標に社会資本整備に取り組んでいます。



株式会社 シビコン

代表取締役 桑原 和秀



熊本市北区植木町岩野 266 番地 12

TEL 096-227-6866 FAX 096-227-6867

創業 平成 11 年 9 月 (21 年)

平成 11 年 9 月総合建設コンサルタントとして設立以来、道路・橋梁・河川・都市計画を中心とした測量設計業務をはじめ、橋梁・下水道・港湾施設の調査点検業務及び土質調査業務に取り組んでいるところです。

今後は地場コンサルタントとして、地域との連携を



深めるとともに日々研鑽を重ねてまいります。



株式会社 十八測量設計

代表取締役 富永 勝也



熊本市中央区新大江 3 丁目 9 番 48 号
TEL 096-383-1800 FAX 096-385-5352

創業 昭和43年12月（52年）

今後も、熊本県内の道路・河川や橋梁等のインフラ整備を通して、地元である熊本の復興や発展に携わっていきたいと考えています。



株式会社 新興測量設計

代表取締役 石原 健二



熊本市東区上南部 3 丁目 32 番 8 号
TEL 096-380-9808 FAX 096-380-9810

創業 昭和51年 1 月（46年）

熊本県を拠点に、測量業や公共工事を中心とした建設コンサルタント業務を手掛けています。確かな技術と磨き上げた豊富な技術で多様なニーズに応え、安心・安全な地域未来の基盤を支えたい。



株式会社 洲崎建設コンサルタント

代表取締役 田畑 幸治



熊本市東区沼山津 2 丁目 7 番 50 号
TEL 096-369-9857 FAX 096-365-3345

創業 昭和46年 5 月 (49年)

創業以来、熊本県内全域において、測量設計に関わる業務を通じ、地域貢献をスローガンとし活動して参りました。

技術の研鑽はもとより、培ってきた技術の継承に努め、更なる地域貢献が行えるよう努力して参ります。

株式会社 スペック

代表取締役 高宮 龍二



熊本市北区弓削四丁目17番 3 号
TEL 096-215-2133 FAX 096-215-2134

創業 平成元年 1 月 (32年)

地域とともに30年、測量設計業を通じて社会資本整備に携わってきました。これからも社員一丸となり、顧客の信頼に応え、良質な社会資本整備に貢献いたします。



SPEC

株式会社 創建技術コンサルタント

代表取締役 柏原 政廣



熊本市南区御幸笛田三丁目 5 番11号
TEL 096-379-8831 FAX 096-379-8838

創業 昭和62年 3 月 (33年)

創業以来、地域のインフラ整備に携わってきました。これまで培ってきた技術や経験を生かしつつ、また新しい発想で地域のニーズに応えられるよう努めて参ります。



双建コンサルタント株式会社

代表取締役 積 幸昭



熊本市東区渡鹿 8 丁目 1 番38号
TEL 096-366-0755 FAX 096-363-5828

創業 平成 7 年11月 (25年)

創業以来、地域に密着し、地域の明日を創る企業として活動しております。

社員ひとりひとりが、技術の向上に努め顧客の期待に応えられる企業の発展を目指します。今後とも地域への貢献に努めてまいります。



株式会社 タイセイプラン

代表取締役 笹路 和弘



熊本市中央区帯山 1 丁目44番39号
TEL 096-381-5665 FAX 096-383-7348

創業 昭和39年 2 月 (56年)

創意向上・迅速確実・礼節協調

創業以来、築いてきた技術と信頼で、安全安心な国土と地域経済に貢献します。



株式会社 大平総合プラン

代表取締役 尾村 龍信

 株式会社 大平総合プラン



熊本市東区月出 2 丁目 5 番76号
TEL 096-387-4107 FAX 096-383-2626

創業 平成 6 年 1 月 (26年)

創業以来、地域の社会資本整備に貢献し、豊かな郷土の発展を支える建設コンサルタントを目指して活動してまいりました。

造る時代から保全する時代へと移り変わっていくニーズに対応するため、整備だけでなく維持保全等の技術力を高めると共にたゆまぬ研鑽に努めてまいります。



株式会社 高木測量設計

代表取締役 高木 信一

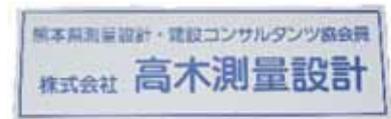


阿蘇市内牧260-1

TEL 0967-32-0566 FAX 0967-32-0729

創業 昭和48年10月（47年）

阿蘇の五岳を背景に阿蘇谷のまったく中ゆかし阿蘇内牧温泉地に社を占めて創業47年となります。阿蘇地域の開発と発展に尽力、絶大なる信用と実績、誠実と信頼を基に成長、発展してきました。永年積み重ねてきた技術、経験を十分に発揮して、今後共、阿蘇地域、熊本県の為の測量設計・コンサルタント会社として努力、活躍して参ります。



有限会社 谷山測量設計事務所

代表取締役 谷山 政治

熊本市東区神園2-10-5

TEL 096-380-4472 FAX 096-380-5796

創業 昭和47年12月（48年）

昭和47年創業以来、熊本県内地域に根付いた活動をしております。

今後も技術の習熟に努め地域の発展に貢献してまいります。



株式会社 第一エンジニアリング

代表取締役 増岡 泰憲



熊本市東区花立 3 丁目 21 番 10 号
TEL 096-360-1610 FAX 096-360-1617

創業 昭和51年 4 月 (44年)

弊社は昭和51年創業以来、測量調査設計業をつうじて、地域に信頼されるインフラ整備に取り組んでまいりました。

これからも一層の技術力の向上に励み、未来を見つめながら地域のニーズに応えるべく社員一同努力してまいります。



株式会社 第一コンサルタント

代表取締役 坂口 隆之



熊本市南区城南町さんさん一丁目11番地22
TEL 0964-27-4534 FAX 0964-27-4547

創業 昭和43年10月 (52年)

当社は、半世紀以上に亘って、道路、橋梁などの公共土木施設や農業土木施設の調査、設計を行ってまいりました。

地域社会に貢献できる人材の育成を柱に、社員が誇りをもって働ける企業を目指し、新しい技術やテクノロジーを取り入れ、社会に貢献できるようこれからも頑張っていきます。



株式会社 大進コンサルタント

代表取締役 池端 秀幸



ベトナム国の大学と産学協定締結



ベトナム国の大学生と撮影 (UAV)

熊本市東区沼山津四丁目 2 番22号
TEL 096-365-0112 FAX 096-365-0113

創業 昭和42年 5 月 (53年)

昭和42年熊本県人吉の地で創業し、半世紀を超え地域の発展向上に寄与するコンサルタントとして活動してきました。

今後も、よりグローバルな視点に立った社員共育、人材育成を目指し、社会に奉仕できるひと創り・企業づくりの理念の元、企業の社会的責任 (CSR) を果たしてまいります。



有限会社 地域開発設計社

代表取締役 上野 茂浩

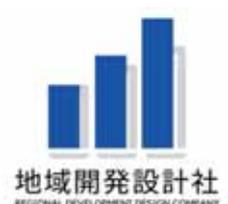


熊本市中央区保田窪一丁目 1 番33号
TEL 096-382-8333 FAX 096-382-8507

創業 昭和51年 8 月 (44年)

熊本県内を中心に測量設計・造成計画積算施工監理業務を続けてきました。

今までの経験とノウハウを生かし、地域に貢献できるようこれからも技術向上に努めてまいります。



株式会社 中央測量設計

代表取締役 古閑 祐治



熊本市中央区水前寺公園28-6
TEL 096-383-3283 FAX 096-382-5202

創業 昭和47年9月（48年）

創業以来社員一同 社会の発展を願い精励してまいりました。今後も地域社会の貢献に一層の努力に努めていきます。

株式会社 東亜建設コンサルタント

代表取締役 大見 多佳人



熊本市東区月出二丁目5番74号
TEL 096-384-2265 FAX 096-384-3867

創業 昭和42年11月（53年）

- ★ 多様な人材，専門技術者が在籍
- ★ 女性管理職もいます
- ★ 熊本地震時全職員に支援金10万円
- ★ 休暇や時間休はP Cで申請
- ★ 在籍者は良い会社と言ってくれます
- ★ 技術者募集中！



株式会社 東海測量設計

代表取締役 水間 信次



熊本市東区小山二丁目 4 番20号
TEL 096-380-7570 FAX 096-380-1120

創業 昭和46年 9 月 (49年)

菊池地域で生まれ育まれて半世紀になります。

菊池支店

菊池市泗水町吉富443番 1

玉名支店

玉名市岱明町庄山93番

東和測量設計株式会社

代表取締役 岩崎 孝司



熊本市東区长嶺南六丁目20番70号
TEL 096-365-6745 FAX 096-365-6747

創業 昭和48年 8 月 (47年)

県内全域で、社会資本の整備に測量設計を通じて微力を尽くしてきた技術者集団です。

これからも、快適な社会生活を実現するために、日々の努力と研鑽を重ねて地域社会に貢献したいと考えています。



株式会社 都市開発コンサルタント

代表取締役 下田 勝則



熊本市東区佐土原 1 丁目14番21号
TEL 096-360-0211 FAX 096-360-0212

創業 昭和58年 7 月 (37年)

道路・河川・橋梁など、地域をむすび経済を支える社会基盤施設であり、さまざまな分野の技術を結集させ、経済性や環境に配慮し、地域の特性に応じた「地域づくり」を心がけて参ります。



トラストコンサルタント株式会社

代表取締役 清田 貴司



熊本市南区田井島 2 丁目10番15号
TEL 096-379-6640 FAX 096-379-6738

創業 平成10年 1 月 (23年)

主に熊本県内公共事業の調査・測量・設計に携わり、一般土木、農業土木、上下水道を主として行っています。

少数ながら実務経験豊富な精鋭スタッフが、高度かつ最適な内容を提案します。



株式会社 長田測量設計

代表取締役 甲斐 真也



熊本市北区龍田弓削一丁目 2 番 5 号
TEL 096-338-7755 FAX 096-339-7233

創業 昭和46年 2 月 (50年)

創業以来、測量・設計業を通して社会基盤整備に貢献することを念頭に、誠実に業務を遂行することで、堅実に伸展してまいりました。

これからも、長期に亘り蓄積した技術力と実績を基に、更なる技術の研鑽に励み、高品質のサービスを提供する所存であります。



西日本測量設計株式会社

代表取締役 山下 定男



熊本市東区花立 5 丁目 5 番87号
TEL 096-367-8900 FAX 096-367-8996

創業 昭和41年 5 月 (54年)

技術による社会への貢献

時代に対応した社会的ニーズに応え、信頼と満足を得る品質の成果を提供し、高度で創造的な応用技術の向上を図る。



株式会社 ハイタカ

代表取締役 加藤 定則



熊本市北区植木町豊田608番地 1
TEL 096-273-7112 FAX 096-273-7113

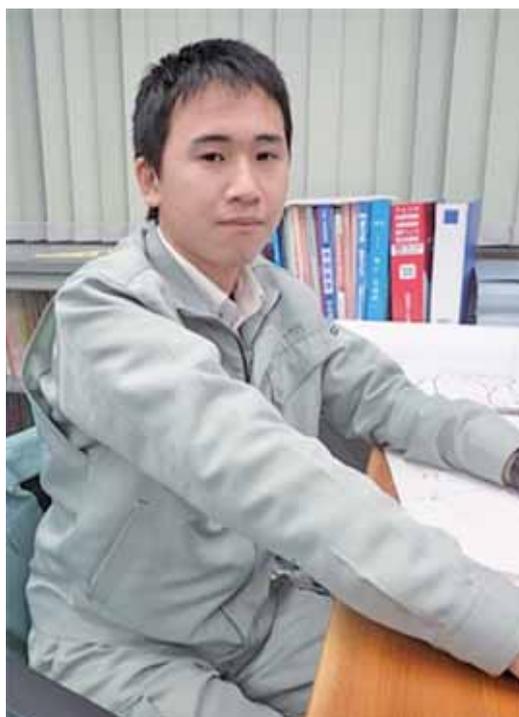
創業 昭和42年 7 月 (53年)

時代は昭和・平成・令和へと推移し、測量設計の手法も大きく変化していますが、創業53年の経験と熟練技術者の新しい技術への挑戦で進化し続けてまいります。



株式会社 パブリックコンサルタント

代表取締役 村上 通



熊本市東区佐土原 1 丁目 9 番 8 号
TEL 096-360-3138 FAX 096-360-3118

創業 昭和54年 5 月 (41年)

弊社は、創業以来、良質な成果品の提供を心掛けてきております。橋梁を始め各種構造物の長寿命化対策に備え、日々の努力と研鑽に努め、技術力の向上に精進すると共に、次の時代に向けて若い技術者の積極的な採用と育成にも取り組んでおります。



株式会社 日田プランニング

代表取締役 船越 清人



熊本市東区小峯 2 丁目 5 番 21 号
TEL 096-331-5820 FAX 096-331-5821

創業 昭和39年 6 月 (54年)

この熊本を愛し、土地を測り、図面を描き、50 有余年・・・その間、道ができ、橋が架かり、街も立派になりました。当社もほんの少しのお役に立てたと思います。これからもこの熊本の街づくりを何処かで支えて行ければ・・・と願っています。



株式会社 ヒライ・コンサルタント

代表取締役 平井 清隆

阿蘇地域振興局 塩井川



完成年月日 平成29年 3 月

熊本市北区清水東町12番30号
TEL 096-344-0343 FAX 096-344-0349

創業 昭和55年 2 月 (39年)

創業以来、40年を迎えようとするなか多様化する業務に対応するため社員一同技術的向上を目指しています。今後発生するであろうインフラへの復興に対する専門的技術の習得、人材育成にも努めてまいります。



2019年度表彰
優良業務
熊本県
© 2010 熊本県くまモン



2016年度・2019年度 優良委託業務受賞

株式会社 福永測量設計

代表取締役 福永 三男



熊本市東区戸島西 1 丁目29番33-607
TEL 096-360-3855 FAX 096-368-7184

創業 昭和53年 4 月 (42年)

創業から、熊本県内全域において、主に道路・河川砂防施設全般の測量設計に携わってきました。

昨今におきましては I C T 技術を駆使したサービス提供にも努めております。

これまで蓄積してきた技術力を駆使し、地域貢献のため更なる信用と信頼を得られるように目指して参ります。



株式会社 フジ建設コンサルタント

代表取締役 廣野 茜



熊本市南区平田 1 丁目14- 8
TEL 096-288-2937 FAX 096-288-2938

創業 昭和63年12月 (32年)

弊社は、創業以来、地域の社会資本整備のために高い技術の習得とサービスの向上・提供に努めてまいりました。

災害の多い日本・熊本におけるニーズに応えるべく、これまでの豊富な知識や経験を生かし社員一同精進してまいります。



株式会社 富友測量設計

代表取締役 片山 哲次



熊本市東区長嶺東 6 丁目 13 番 10 号
TEL 096-273-9870 FAX 096-273-9871

創業 昭和58年 3 月 (37年)

創業以来、地域に根ざし信頼される企業を目指してまいりました。

これからも建設コンサルタントとして、顧客の信頼に答えながら地域に貢献できるよう、技術力の向上と人材育成に努めてまいります。



株式会社 ホープ建設コンサルタント

代表取締役 小野川 洋



熊本市南区良町 2 丁目 8 番 8 号
TEL 096-379-7545 FAX 096-300-3300

創業 昭和51年 3 月 (44年)

創業以来『技術と信頼』をモットーに、常に新しい時代の変化に対応すべく、お客様の信頼に応えながら業績の進展を続けております。また、測量・調査から設計・施工まで、お客様のあらゆるニーズに対処できるよう、社内の機能・態勢を整えております。



株式会社 水野建設コンサルタント

代表取締役 椎葉 晃吉



熊本市東区小峯 2 丁目 6 番 26 号
TEL 096-365-6565 FAX 096-367-6290

創業 昭和 27 年 2 月 (68 年)

昭和 27 年 2 月に熊本県測量業登録第 1 号として熊本の地にうぶ声を挙げ、今日まで一貫して「地域とともに」をモットーに建設コンサルタントの道を歩んで参りました。これからも成長し続ける働き易い企業として更なる技術の向上を図りながら、100 年企業を目指して、地域のみなさまの信頼に応えるよう社員一同取り組んでまいります。



2019 年度表彰
優良業務
熊本県
2019 年度優良企業



株式会社 三浜測量設計社

代表取締役 志水 共一



熊本市東区東野三丁目 17 番 16 号
TEL 096-360-2913 FAX 096-367-0522

創業 昭和 47 年 7 月 (48 年)

調査・測量・設計・補償を一貫して手掛ける総合力が強みの建設コンサルタントです。

発注者からの信頼の向上に向けて日々技術の研鑽に努めております。

営業所／天草・宇城・八代・菊陽・玉名



 株式会社 三浜測量設計社
MIHAMA Survey & Planning CO., LTD.

株式会社 八千代コンサルタント

代表取締役 嶋崎 豊



熊本市東区尾ノ上一丁目25番21号
TEL 096-387-6350 FAX 096-387-6348

創業 昭和55年3月(40年)

おかげさまで設立以来、地域の皆様の安全・安心と利便性の向上を目指して社会資本整備の一翼を担わせていただいております。

これからも、地域に根ざし、地域の明日を創る企業として千代に八千代に成長し続けるために、技術の研鑽に努めて参ります。



株式会社 祐水コンサルタント

代表取締役 宮田 忠明



熊本市東区尾ノ上二丁目18番3号
TEL 096-340-1167 FAX 096-340-1667

創業 平成10年8月(22年)

創業以来、「社会と社員に価値ある会社」という経営理念を持って、土木技術による社会貢献を目指しているところであります。

事業の目的に合ったより高度な技術を提供できるよう、社員一同研鑽に努めてまいります。



(千代田ビル 105号・106号)

営業所

八代市・合志市・宇土市
大津町・西原村



株式会社 ワコー

代表取締役 浦上 善穂



熊本市南区御幸笛田3丁目19番1号
TEL 096-370-3333 FAX 096-373-2323

創業 昭和40年5月（55年）

昭和40年の創業から半世紀にわたり地域のインフラ整備に携わってきました。長い歴史の一方で昨今では若い人材も増え、これまで培ってきた技術と新しい発想で地域のニーズに応えるべく研鑽に努めております。



株式会社 ワールドコンサルタント

代表取締役 吉田 隆臣



熊本市中央区水前寺6丁目38-10
TEL 096-384-1844 FAX 096-384-1813

創業 平成9年8月（23年）

弊社は、発注者側の要望に応える技術提案を行うと共に品質向上に努めています。業務としては、公共事業の測量・設計、航空写真測量・ドローン撮影、現場技術業務などを行っている会社です。これからも多種多様のニーズにお応えするとともに、社会貢献に取り組んで参ります。



編 集 後 記

「協会だより」第25号が、ようやく発刊の運びとなり、編集メンバー皆ほっとしています。新型コロナウイルス禍の中、さらには令和2年7月豪雨災害による災害査定等の測量設計業務の多忙の中、経営広報委員会の委員長、副委員長をはじめ、広報部会の編集メンバーが参加して2回の部会（編集会議）を重ね、短い時間で活発な議論を交わしました、先ほど述べましたように新型コロナウイルスと令和2年7月豪雨災害対応の中、多くの協会行事、研修等が中止され紙面構成が難しさを極めました。そこで部会では例年とは違う「リモート特集」「会社紹介」「災害発生時の測量設計業務マンガ」の掲載という形をとることとし、なんとか充実した構成となったのではないかと考えています。

終わりに、御多忙中に原稿をお寄せいただいた皆様や編集に御協力いただいた皆様方に心から御礼申し上げ編集後記といたします。



「協会だより第25号」（2021.1.発行）

◇編集 経営広報委員会 委員長 吉田 史朗 旭測量設計(株)
副委員長 浦上 善穂 (株)ワコー
広報部会 部会長 西浦清志郎 カンセイコンサルタント(株)
委員 米村 隆博 (株)和調査設計
原田 卓 (株)九州開発エンジニアリング
山下 祐二 興栄測量設計(株)
柏原 政廣 (株)創建技術コンサルタント
水間 信次 (株)東海測量設計
下田 勝則 (株)都市開発コンサルタント
福永 三男 (株)福永測量設計
宮田 忠明 (株)裕水コンサルタント
担当副会長 内田 貴士 (株)興和測量設計
専務理事 成富 守



START LINE



私たちには大切な使命がある。

情熱と、使命感に溢れた者達の熱きストーリー!!

一般社団法人 熊本県測量設計コンサルタンツ協会

〒862-0924 熊本市中央区帯山1丁目38番31号 [TEL]096-385-9390 [FAX]096-385-9391 [HP]<http://kumasoku.or.jp> [Email]info@kumasoku.or.jp

全国で頻発している大規模災害の復旧復興の

「スタートライン」には必ず測量士が存在します。

この漫画は、そんな測量士を目指す

若手技術者の働きを描いた物語です。





鉄橋が...

7月4日 午前5時

熊本測量設計株式会社



相変わらず
目がパソコンに
近いな



おはよ!

先輩
おはよう
ございます!



グッドモーニング
エブリワン!

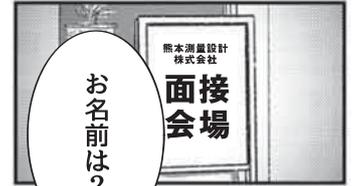
この人は私の先輩吉田さん
「熊本測量設計」で
新人の私を指導してもらっている
頼りになる先輩だ
今日は社員みんな
昨夜からの大雨により
早めに出社して待機している



昨日から
かなり強い雨が
降り続けてるなあ

はい…
心配ですね…

1年前



それは 測量士たちの活躍！

誰よりも早く駆けつけ

迅速に動き

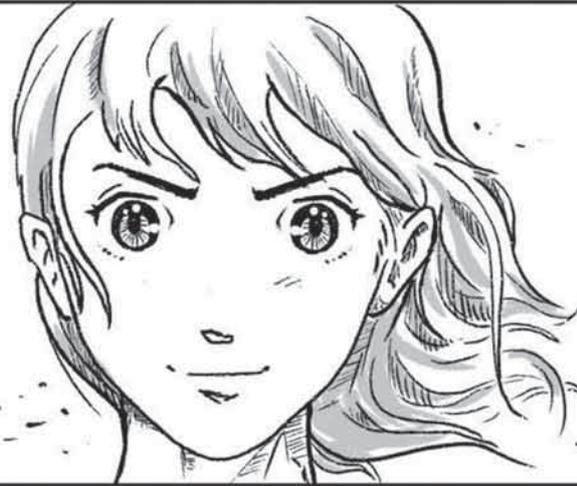
的確な指示を出す姿は

頼もしかった

そして測量士の指示のもと
みるみる内に回復していく
道や建物に感動して…

こんな仕事があるんだ
こんな生き方が
あるんだって…！

その時私は心に決めた！
測量士に私もなりたい！
いや絶対なってるよ！



そして私もいつかきっと
人のために街のために
働くんだと…
そう決めたんだ!!

計画・調査

地域のどこにどんな
社会インフラが必要かを
計画するほか、
具体的な調査(※)を実施し、
公共土木工事の
第一歩を担います。



※計画検討、環境調査、交通量調査、地質調査など

測量士の仕事は大きく分けて4つ

測量

つくるものの位置を
くまなく計測(※)し、
それらを安全に設置するための
土台を数値化、多面的に
視覚化します。



※基準点測量、地形測量、路線測量、用地測量、
UAV・3Dレーザー測量、深淺測量など

設計

つくるものの構造や
デザインを決定し、
具体的な形にするための
設計作業(※)を
実施します。



※道路、一般構造物、橋梁、トンネル、河川、
その他重要構造物の予備設計、詳細設計

維持管理

社会インフラの完成後は
定期点検(※)を徹底し、
必要に応じて
修繕をおこないます。



※点検業務、調査、補修設計業務、耐震補強設計業務、
長寿命化計画策定業務など

生活の
あらゆるところに
測量設計の
フィールドがある

公共土木事業を
支える
様々な役割の
なかでも

「スタート業務」を
担うのが
測量設計だ



そして今私は念願が叶い
この測量会社にいる

熊本測量設計株式会社

おーい
亜希ちゃん

差し入れ
持ってきたよ

吉田先輩は新婚で
奥様が張り切って
料理の勉強中らしい

ウチの奥さんが
作り過ぎちゃって♡

くまマン
クッキー♡

これが
奇跡的な味…

味音痴か
先輩は!?

まず…

仕事の腕は
いかに…

休憩中
すまない

ちよつと
みんな
いいか?

テレビを
つけてくれ



気象庁は
熊本県・鹿児島県に
大雨特別警報を
発表しました

警戒レベル5
相当の今までに経験
したことのない！

…猛烈な雨の予報です
命をまもる行動を
とってください

警戒情報付近の
住人は速やかに
避難してください



速報です



警戒レベル5…

今までに
経験したことのない？

命をまもる行動って…!?

そんなまさか…



またしても熊本に…



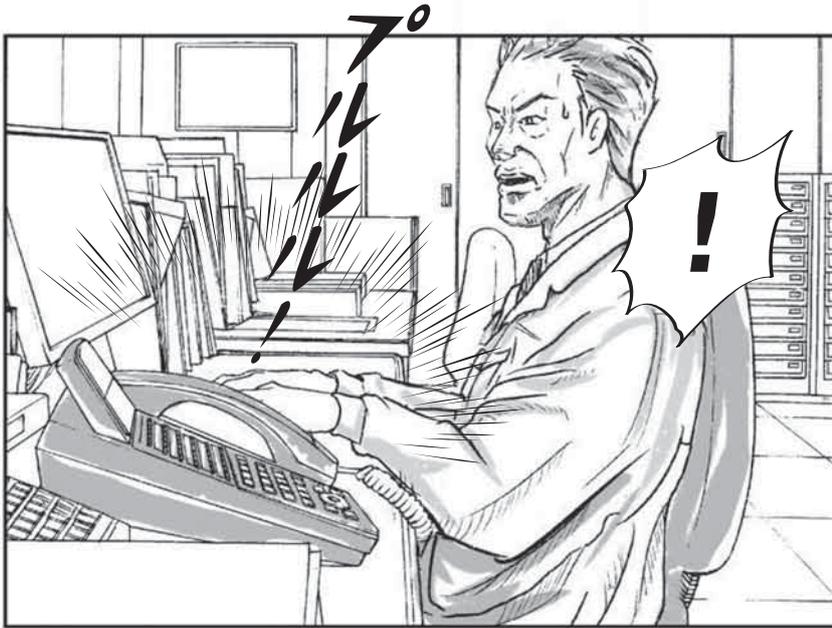
こここれは…

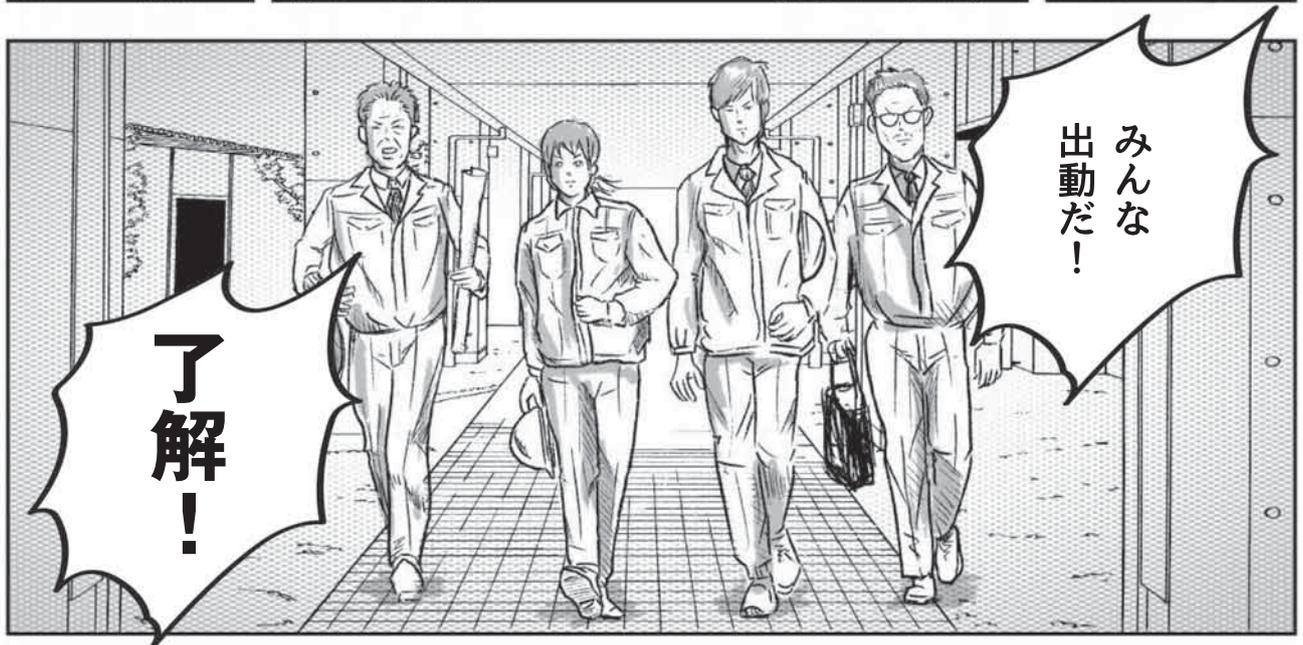


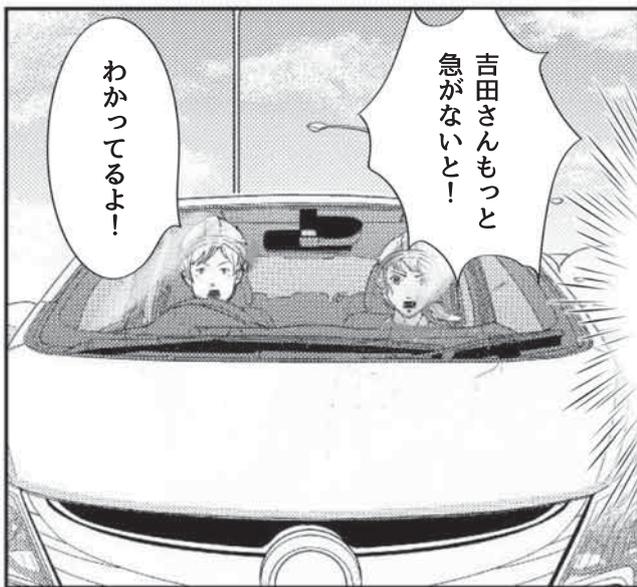


はい！











今から
被害状況調査
開始します！



こちら
Aポイント
現地到着！



ギョッ



こ…
これは…！

川口
早くしろー！



急ぐぞ！
早く降りろ行くぞ！！



すつ
すみません！
今行きます！



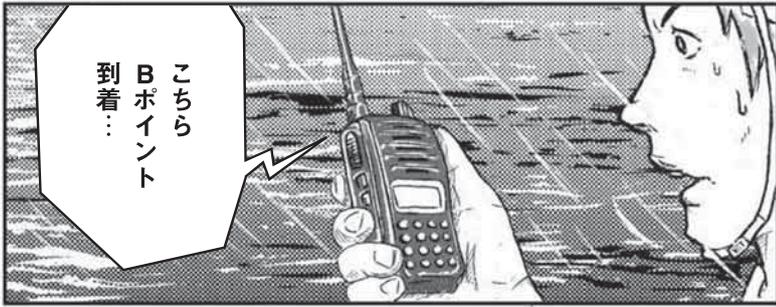
まさか…

ま…

鉄橋が…

球磨川氾濫被害「橋梁の流出」







Cポイント到着!



川の水が民家に...

球磨川氾濫被害「河川護岸崩壊」





我々は4年前の
あの日をも
乗り越えてきた!



各自持ち場で
全力を尽くせ!
目の前の仕事に
集中しろ!



みんな
聞こえるか!



いいか!

ここからが
復旧のスタートラインだ!



あの時の
私のヒーロー達は
こんな想いで
活動してくれてたんだ…

私も少しでも
力になりたい！

はい！

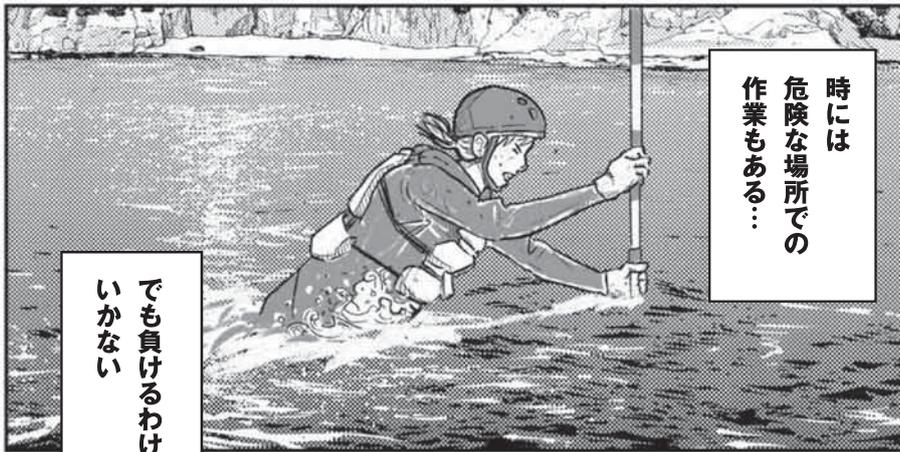


行くぞ！

あの日見た光景…

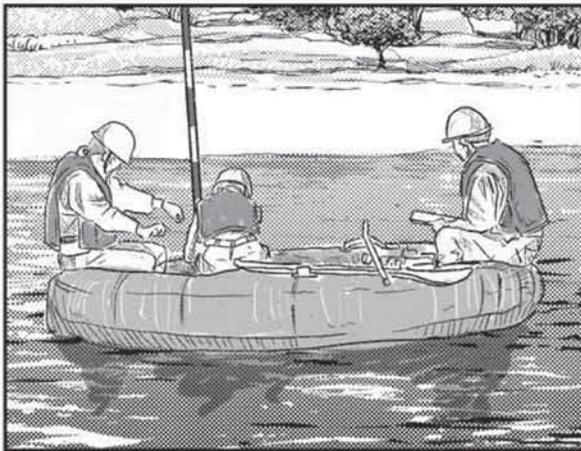


それから私たちは
災害発生直後から
昼夜を問わず
復旧事業に従事した



時には
危険な場所での
作業もある…

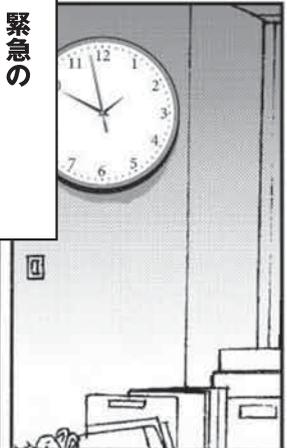
でも負けるわけに
いかない



膨大な事務作業も
重要な仕事だ

会社に戻ってからも
深夜まで事務作業は
行われる

緊急の
大規模災害時には

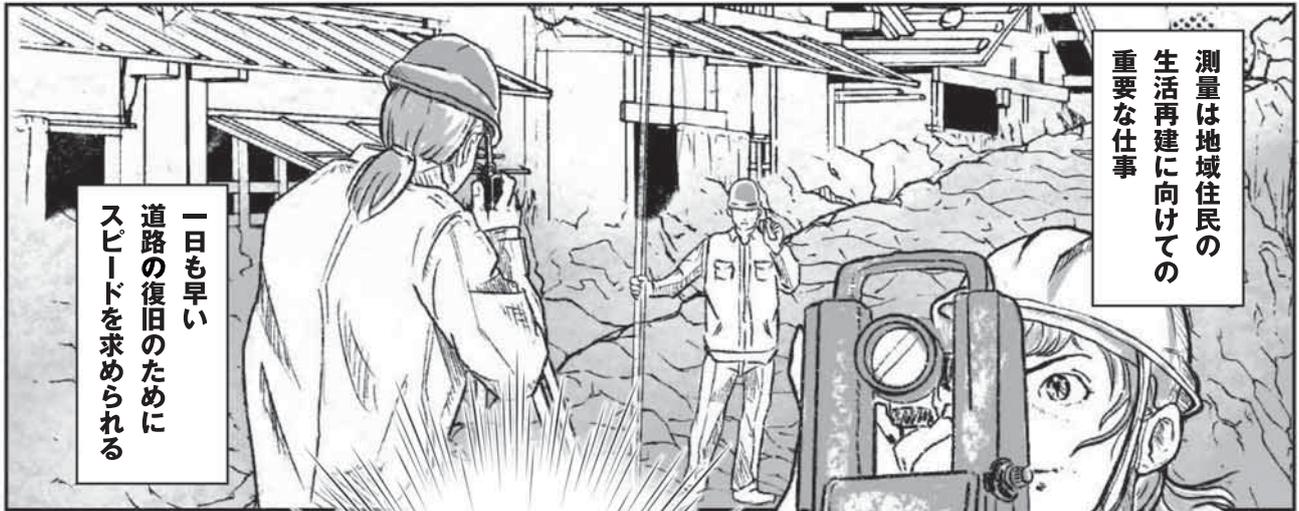




住民から災害前の
元の状態の
聞き取りなども行う



不安な住民に
修復の過程を説明したり

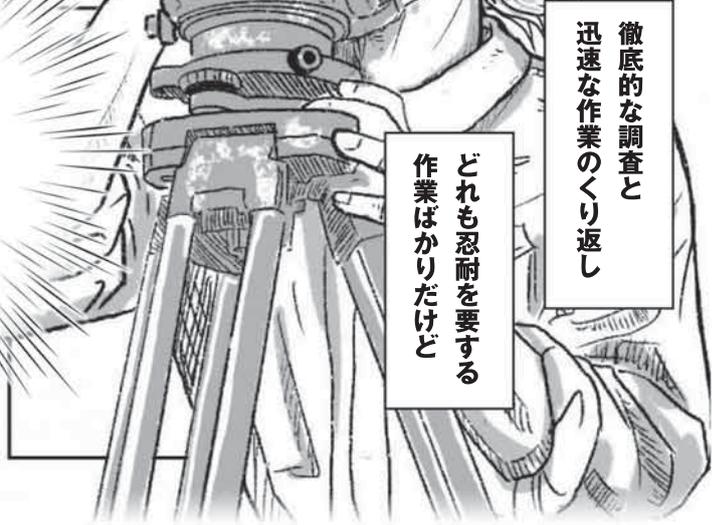


測量は地域住民の
生活再建に向けての
重要な仕事

一日も早い
道路の復旧のために
スピードを求められる

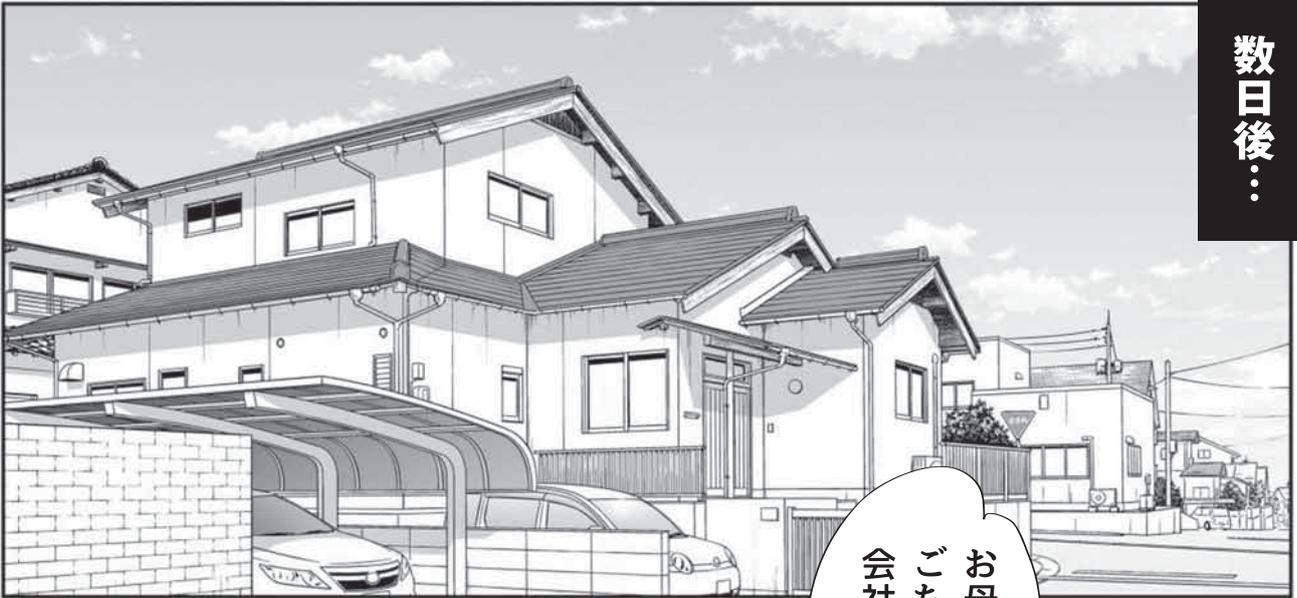


待っている
方々のために
私たちは決して
諦めない!

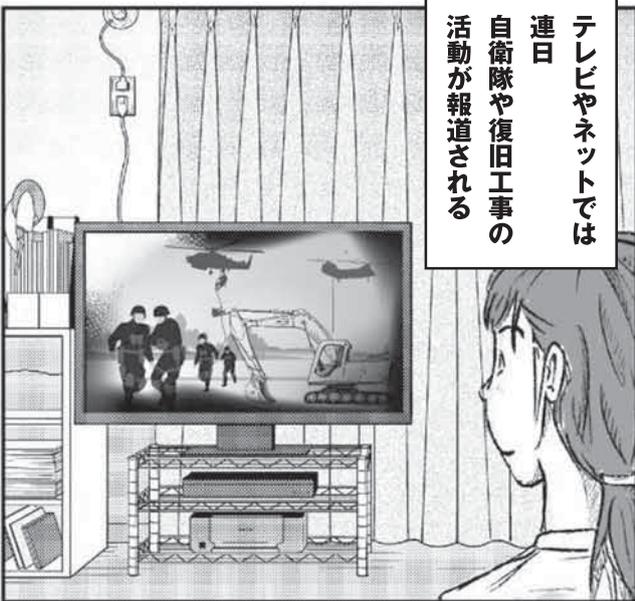


徹底的な調査と
迅速な作業のくり返し

どれも忍耐を要する
作業ばかりだけど



お母さん
ごちそうさま！
会社行くね



テレビやネットでは
連日
自衛隊や復旧工事の
活動が報道される



気をつけて
いくんだよ



いってきまーす！

でも調査測量設計が
終わらないと
復旧工事は実施できない



私たちの仕事は
知られていない…
いわば「影」の仕事だ



誰かの安心に
確実につながっている

たとえ
知られていなくても

バタン

我々の仕事は
社会の安全や

フウッ...



ここが
スタートラインだ！

よし！
今日もまた
頑張ろう！

つづく